

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「末摘」翻刻

日向一雅
湯浅幸代

凡例

- 一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.4/75/甲）を用いた。
- 一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。
 - 1 異体字は通行の字体に改めた。
（例） 畀↓書 罌↓靈 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 難↓難 槩↓概
 - 2 合字は分割して翻刻した
右↓ヨリ メ↓シテ・シタ 下↓コト
 - 3 漢字に付された濁点は（・）で表した。
 - 4 振り仮名などの傍記は、右側のものを（ ）、左側のものを（ ）で括った。
 - 5 本文に傍記されている日付は ≧ ≪ で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。
 - 6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さいままとした。
 - 7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、割り注内の改行は / で表した。
- 一、反復記号は、ゞ 々 々 / など、原態に近い形で翻刻した。また、濁点の付されたラドリ字は / () で表した。
- 一、堅点の表記は、右側のものを「僧*房」（四才頭注）、左側のものを「偏奉」（二才）のように表した。
- 一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂正文字を（ ）で括った。
- 一、抹消は●で表した。
- 一、字句の誤りと見られるものに「ママ」と傍記し、≧ ≪ 内に訂正文字を記した。
- 一、写本の汚れや損傷により判読不能の文字は□で表した。
- 一、写本上の表記は傍点であるが、句読点の意を持つ傍点については、「思ヒタマヘテナンヲカシク」（十三ウ）のように表記した。
- 一、挿入記号は◇で表し、挿入文を（ ）で括った。但し、「通シタ者◇（ヨリ）」（九八才）は、写本に挿入記号はないが、挿入と解釈して表記した。
- 一、改行による空白を除く二文字以上の空白は「空白」で表した。
- 一、和歌の開始記号は「で表した。
- 一、頭注は（ ）で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐも

のは、開始丁にまとめて掲載した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 湯浅 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯浅と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・RA)で再修正を施した。

翻刻

【六四才】

《五月六日會》

末摘

此卷ハ若紫ノ次ノ卷也若紫ノ卷モ源ノ十七歳ノ三月ノ晦方ト鞍馬ヘ行時ノコトアル也ソレヨリ冬迄ノ事モアル此卷ハソレヨリ前也同年ノ二月比ト見ユ先ニモアル二月(キサラギ)比()ト見エル源クラマヘゴザルハ三月晦方ワラハヤミ久煩トアルスレバ三月最初カラ煩ト見ユ臙月()クイザヨイトアル若紫ヨリ一ヶ月モ前ノ事也若紫ヲ三月十五日比ハ瘡ニ振ヒ入テアルコンナモノズキ無事也是ハ夕顔去年死トカク夕顔ニ似タモアランカトサマ／＼セシギスルニ大輔(タユウ)ノ命婦フト末摘ノ事語り出故通ヒ初(ソメ)ル也二月ノ比ト見ユ哥ニモイザヨイト云アル二月トハナヒ也然ハ若紫ヨリ前ニアルハヅナレドモ若紫ヨリ先ノ事書ドモ又若紫ヨリアトノ事モ書也是ハ翌年ノ事迄書故若紫ヘツ、イタ也此卷ハ横也豎也ヨコハ并デ書豎ハサキ也是ハソレヲ兼ル故若紫ヨリ末書タ也

思ヘトモ―此卷ハ若紫ノ次也若紫ノ卷ニ強テ末摘ノ事無也ヒタチニハ

【六四ウ】

田ヲコソ作レト云事コソアレコ、ガ末摘ト云事ナヒ也其歌ハサビシサニ歌ウ也若紫ハ若紫一卷デスミタ也時ニ思ヘトモト書ツ、キハ若紫ヨリ前ノ夕顔ノ卷ノ引ツ、キト見エル文章也若紫ヨリ前ノ事書故若紫ノケテ置書也ソレヨリ前ノ夕顔ノ事書也夕顔ノ卷ノ次夕顔ニツバクト知サン為一ツ又夕顔ノ事書ト云事知サン為一ツノ書出也此最初ハ若紫ノケタ顔ノツバキトミル也思ヘドモト云五文字意重イ五文字也ドコデモ也伊勢ニ思ヘドモト云哥アル也思フト云タゞ五文字ニ非ス思ヘドモ／＼ト云心也ドモト云ハネトモ百人一首ニアル忍フレドトアル忍ブレド／＼也トモ雖ト同事也イクタビモ云事也浅茅生(アサヂフ)ノ小野ノ篠原忍ブレドモ同事也忍ブレドモ／＼トカク忘レラレヌ也忍ブレドモ思ヘドモ同事也雖ヲ略スルブン也メツタニ下ス五文字ニ非也夕顔死ナレテ思ドモ／＼忘レヌ也カリ初ノ夕顔ノヤドリカラツイ六条ヘ行テ死ドモソノ心ザマ忘レラレヌ故ニ思也意深(フカイ)也玉カヅラノ卷ニモコンナ事アル

【六五才】

是トハ違様也ソレハ玉カヅラノ事ヲ書ン為ニ云也是ヨリ輕(カルイ)也ケレドモ夕顔事忘レヌ事玉鬘(タマカヅラ)ノ卷ニモ見ユ露―夕顔ノ六条院デ死事エ忘ヌ也此時ノ御本妻ハ葵上ナレドモムツツリトセヌ又源ノ事故諸方ヘ通ドモ夕顔ノ様ニ心ニ叶事ナヒ也ナゴリ多也年月ト云テソノ様ニ久ニ非ズ去年十六歳ノ秋也去年ノ秋事也其様ニ久ニ非也コ、モ―源ノ方々ヘ通葵モトヨリ花チル里ノ六条ノ御息処ナド方々也源ミヤ故アチニモ心ヲキ打トケヌ也打トケ心易セヌ也俗ニ云ベツタリトシタ恋ハナヒ也皆子細ラシイ也心―是ハ六条ノ御息処杯也互ニ心深故両方カラマス／＼ミヲトサレマイトスル也打トケタ源ノ心ニ叶色ナヒ也ケ近―夕顔ノ様ニヲ心安ヲ出ナサレナツカシイハヤリデ

子細ラシイ様ナ葵ヤ六条ノ宮ノ様ニナヒ也夕顔ハ三位ノ中将ノ女メ故カイル
ニ非ドモ心安也而モユウビ也葵六条ノ宮ハ重々シクアチニ位取テアル也イカ
テ―イカデハドウゾシテ也六条ノ宮ノ様ニコト／＼シイ子細ラシイ事ナクシ
テ

【六五ウ】

モノ和ナカハイラシイ人ノツゝマシ―モ葵六条宮様ナコチカラモツゝミカク
ス事ナク心安クユク様ナ夕顔ノ様ナ人ホシイ也ソナドウゾ見付タイ也コリ
スマニ―夕顔カラ此思ヒアルソレニコルベキ也マハ付字心ナヒ也コリズニ也
次テニヨセコリズマノ浦ノミルメトヨメドモ惟コリ又事也スマノ浦ノ事ナヒ
也今日歌取（トツ）デ浦ノ縁ナケレバコリン事コリズマノトハヨミニクイ事
也海辺ノ縁ナケレバヨマレヌ也思ベキ也コレラハ縁ナヒ也スコシ―テツトデ
モユヘ／＼シイ事聞エル近辺ニハ心止也ワタリハアタリ也ソンゼウカウシタ
女メアルト云バヲ耳止也元ヨリ夕顔方種（タネ）也クマハカクレタ処ナヒア
ナソコホツタ也クマハカクレタ処也クマ／＼迄センギナサル也サテモヤ―元
ヨリ源ノソウシタヲ心バヘト思故アタリニアル付々ノ女中下人ヲ心ニ叶様ニ
トテゾソコノ誰ガ女メハドウト見ニマカセ聞ニマカセテ申上也ナル程ソフ
モアラント思召也イヤソフデハアルマイト思ハノケテヲキナル程ソウト思召
ニハ―行ノフミデモ遣シテホノメカシテゴランナサル也源ノ一筆遣ヤ否（イ
ナヤ）イヤト云ハナヒ也

【六六オ】

ドレモナヒガ却ソノナイガイツソ目ナレ珍ゲナヒ也ツレナフ―宮親王大臣撰
家ノ女メモイヤデナヒ也天下第一ノ好色美質ノ人也コトニ天子ノヲ子故云テ
ヤルヤ否イヤト云ナヒ也ソレテハ却テメナレタ也ソノ中ニモアイマニハツレ

ナヒ様ナル也タトシヘノシハ助字也タトヘタ者モナヒ也情ヲクルハ無風
流（ブフウリウ）也源ニ従ヌハソレハウソ也ジツテイナ様ニシテモコレハウ
ソ也アマリ―源ナドノ被仰ニ従フマイ様ナヒ也ソレデ―生スムカト思バソフ
ナク残モナククズラレ却テ軽／＼シイ者ニ従也源ノ被仰入ヲ面ムキツナビキ
エンリヨシテ見エルニ源引（ヒケ）バ軽イ者ニ縁グミデモスルソレハ却テ無
風流ジヤトハ是源物語故源ヨリケツカウニカク故カウ云立タ者也ナヲ／＼
シキ―ハ平生テイノ者ニ縁クムニウケンハノ玉ヒ―ト作者書也サスハ今モシ
サシテヲクト云也半デヲク也ゲニ―是カラナニカタノ事此ニ取アツメ云也ゲ
ニト云モ平生源ノヲ心ニ空蟬ノ事忘レヌヲ含カク也ヲ心ニ忘レヌ御尤ジヤト
云ゲニ也源ノヲ心ニスマント恨ミル様ニ思也伊予ヘ下テアル也

（○三丁ヲナヲ／＼ノ意如何日物ノカズデモナヒヲヤウ／＼シイト云字ハ知
ヌ也其方ヘ始ヤリフサイノエン辺定タ也）

【六六ウ】

萩ノ葉モ―軒バノ萩也ゴヲ打テアル空蟬ノマハ女メ也一夜モヌケノアトデヲ
逢ナサル事アル故ソウアリヌベキ時ハ風ノ―コレラ文ヨイ也ヲトロカスハ萩
ニ風立ニソノ詞ノタヨリ也ホカケ―軒バノ萩ノニギハシクハカ／＼シイテイ
ハハデナ灯（トモシビ）ノ影デ見タウルハシイテイハ又デ逢テ左様ナテイデ
逢タイ也大方ノ平生ヲシナメテノ処方前ノ事残ナク忘レル事ナラヌ性也仁心
レンミンノ御性アイ也左衛門―大貳ノ女メハ夕顔ノヤドリニ見舞ニ行時ノ源
ノ身附ノ惟光ノ母也◇（古ハ貴人ハ乳母ニ人モ三人モアル也第一ハコレ光ノ
母也）其次ニ左衛門ノ乳母トアル其女ニ大輔ノ命婦トテ召遣アル也左衛門ノ
乳母ノ女メ也源ノヲ乳兄弟也是ガキンリヘ御奉公申シテアル也命婦ハ女官モ
五位也チヨクウケ命ス命トハカラニモアル天子ノ命ウケ叙*爵シテ御奉公ス

人ノ妻デ出ハ外(ゲ)命婦ト云人ノ女メデハ内命婦ト云也是ラハ内命婦也キ
ン中へ御奉公申シテアル也大輔ノ事ハ下(シモ)デ無シテユク也ワカンドヲ
リハ古ハ秘事也源中最秘抄ニモ出ワハ王カハ家(イエ)也ンハ

〔○私考曰左馬ハ中臈格ナル女ノヨヒ名也大輔モ亦右ニ同シ〕

〔○私考曰ワカムドオリトハ男女トモニ諸王ヲサシテ云是未タ姓ヲ賜ラサル
人々也ミヲツクシ乙女ノ卷ニモアリ此兵部大輔モ御常陸ノ親王ニ親戚也
●ナル諸王ナルヘシソレワカムトヲリトハ別王等倫(トモカラ)タルベ
シ日本紀景行天皇四年二月ノ紀ニ別王之(ワカレミコノ)苗裔也トアリ
兵部大輔ノ職掌ハ卿ニ同シ帯劔ノ官ナルヘシ桐壺ノ卷ニシルセリ〕

【六七〇】

無(ム)也王家デ中々此類ハナヒ也外ニテハ同類ナヒ也王家ニシテトウリン
(等倫)無也外ニ同類無也ヨイ衆ト云事也兵部大輔ハ宮ノヲ子也天子ノ孫ゴ
ヒマゴノ様也臣下ニナラズ王氏(ウジ)也平氏デモ源氏デモナヒ也何ノ王(ヲ
キ)ミ也ワカンドウリハ下(シモ)ニ王ミトツク也氏モラヘバナニ氏デモ
カタヅク也兵部ノ大輔ナニノ王ミト云人也源ノヲ乳母ガ兵部ノ大輔ノ女房ニ
ナル也其乳母ウム処ガ大輔ノ命婦也イト源ノヲ乳兄弟ノ大輔ノ命婦ガ色コ
ノミ也君一ヲ乳兄弟故近召シテ遣也君ハ源也母ハ一母ハ兵部ノ大輔ノメナレ
ドモ子アレドモリ縁シテモデル也チクゼンハチクゼトヨミテヨイ也チクゼン
ノ守(カミ)ニナリ夫ト下ル故ソレニツキ下テ女メハ京ニアル也父君一ハ兩
説也父君ノモトヲ里ニテ行カヨウコヒタチノミコノ末ニマウケテイミジウカ
シツキ玉フ御ムスメトツバケレバ末摘ノ事也御ムスメガ即末摘也父君ヲ末摘
ノ父君ノモトデト末摘トミレドモ是ハ父君ノモトヲ里ニテハ兵部卿ノ大輔也
マハ父ハ母以(イエ)テ

〔○私考曰筑前守ハ令外ノ官也此国元ヨリ太宰府ノ官アルニヨリテ守以下ノ
官ヲ置玉ハス然ルニ大同三年以來別ニ守介掾目(カミスケセウサクハン)ヲ
任シ玉フ也云々〕

【六七ウ】

下ル故本ノ父ノモトヲ里ニシテアル也ミクヒ処也コノ父君ヲ大夫ノ命婦ガ
父兵部ノモト見テヨイ也サテ行カヨウトミル也前ノハ末摘ノ父君ノモトヲ
里ニシテトミルヨク聞エレドモ先兵部ノ大輔ヲ父君トミルコト也我父兵部ヲ
里ニシテヲイテ故ヒタチノミコハ宮様也今桐壺ノ天子也ソレヨリ前ノヒタチ
ノ大守デレキノ親王ノ末ノヲ子ノ末摘也行通テヒタチノミコニモ御奉公
申也故ハ死シタ事也末(スエ)ニハ年ヨリ出来也ヒタチノカミハカウズケ
ノ守カズサノ守ト三大守トテ宮様ヨリ外ニナラヌ也親王ヨリ外ニナラヌ故ヨ
イ也心細一父ハ死ナレ心細ク残アルカノ大夫ノ命婦ガ父君ノモトハ里ニシ
テアナタレキ故末摘ノモトニモ部屋拵ヘ宮ヘモ奉公スル也古ハ内ニサフ
ラウト云ドモ又宮様方ヤ撰家ヘ奉公スル也是モ五位デキン中ニ仕ドモ折々ハ
ヒタチノ宮ヘ奉公スル也又源ヘモ奉公シタ人也先デ見エル也又カライハ撰家
ヘモ祿ウケ奉公スル也男女トモソレ也兼帯シテ御奉公申也心細一ヒタチノ

〔○私考曰ヒタチノミコトハ常陸ノ大守ナル親王ヲイヘリ上総常陸上野ノ
三国ニハ天長三年格ニヨリテ親王ヲ大守ニ任シ玉ヘリ親王太守ニ任シ玉フ時
ハ吏務シラス仍件ノ三国ハ介ヲモテ大守ノタメニ吏務ヲシル(ラ)シムルト
也類聚(一)三大格ヲ引天長三年九月六日ノ勅ヲ記ス又帝王編年記ヲ引親王
此三国ニ任スル初トアリ可考〕

〔○兼道按ココニ召モメシツカヒナドシ玉フトアルサレハ命婦ハ源ヘモ奉公

スル也)

【六八才】

守死シテハ禄ウスクナレドモ通付也兵部ノ大輔ハマ、母ノモト故ソレ面白ナ
ヒ故ニ禄(ロク)ウスウナレドモヒタチノ宮ニヘヤモフリナジミデ行也源ヘ
御奉公申ス序ニツイセウニヒタチノ姫ノ事云也其姫君残りアルガ哀ナ事ジヤ
也心バヘ—命婦カ詞也アナタヘ出入シテ勤メアレドモ御容儀心アヒ知ヌト也
カイヒソメ—ヒソマツテ居テ末摘ハ性合ハデニ無心静ナ人也カイハ助字也人
ウトウ—中々人ヲアタリ近辺ヘヨセ物語スルニ非ササベキ—サウアルベキヲ
物語アルベキヨヒ也キン—琴ハ七絃也古ハ七絃ノキンアルコト、云バヲシナ
メテ十三絃七絃和琴ビハ皆云也キント分(ワケ)テ云バ七筋ノキン也末摘ハ
キング工物也ナツカシキ—人(人)トハコトヲ友達ト思也末摘ソウ思テアル
ト命婦方源ヘ申上也ミツノ—キン詩酒ノ友トテコト、酒ト詩ト云婦人ニシテ
ハ今—シユノ酒ハ各別ナラント也一説ハ酒ハ女ノ事ナレバ句誦詩ナランカト
云ドチラデモ通スドチデモ—色也ソレヲ我ニ聞セ也父—ヒタチノミコハキン
ガ上手也ソノキンノ方ニヨシノシウ

【六八ウ】

ユヘ付タ上手也姫君モコリヒカン命婦ガ云ハ左様ニヲ聞ナサル程ニハナルマ
イト云也是命婦ツクロイ源ニヨフ思ハセントテ云也イタウ—源ノヨウスヨク
取ツクライ云ト也コノ比ノ—ヲグライ時分ニ行テ聞ン物ハ心ナヒ也上(カミ)
ウケ云也マカレデ—内ニアル命婦故キン中ヲ罷薙(出)コイ也ワツラハシ—
此命婦シラヌ事ナヒ也女ノ事故末摘ハナノサキ赤モシレドモツイセウニ源ノ
マヘニテ云思ノ外ヒタチノ宮ノユイシヨニヨリ源ノ行ント思ノ玉フ者ニドウ
モナラン好色ノ命婦故取ツクライ云アマレキリヤウヨフナヒ故キノドクト思

也ウチワタリ—キン中モ二三月ナレバアマレ政事ナヒ時ニ已ニ罷出也父ノ—
本父ノ大輔ノ命婦ハヒタチノ宮ニハヲラズ腋ニヲルヒタチノ方ヘハヘヤヲモ
ライアル故折々通也命婦ハ—マ、母故ナカアシイ也スミ付ン也ヒタチノモト
ヘハ親ミムツマシウ思ヒクル也末摘古風ナテイモ鼻ノ先赤モヨク知テアル也
ノ玉モンシルク—アンノ如クユカント被仰ガアンノ如ク命婦ガヘヤヘクル也
被仰ニモ

【六九才】

違ズ也イサヨヒハ十六日也イザヨフハタゞヨウキミ也◇(武士ノ)ヤソ氏川
ノアジロキニイサヨウ波ノユクエシラズモト万葉ニヨムハタゞヨウ也月ノイ
ザヨフハ十五日ハ満月十六日イザヨウ様ニ待テ出ル故也必月イザヨウトテ十
六日ニナラネドモ先十六日也此十六日トミレバ二月也源ノ冬ワラハヤミニ煩
ト若紫ニアル故ニ三月十五十六日ニカウシタ事ナレバ若紫ニ久ワラハヤミトハ
カ、又也是ハ二月ト見エル也是末摘ノヤシキ也イト—命婦ガ詞ニゴレキノ
ノカウノ処ヘヲ出ハキノドク也物ノネ—マヘニコトノネキカセトヲ、セ故ソ
ノ返事ニイト竹クハンゲンノ夜デナイ也物ノネハ秋カラ冬ヘサヘワタル夜ハ
サヘスム也ドンミリトシタ夜ハサヘヌ様也ナヲ—ナヲハソレトモニ也アソコ
ヘユキ我キタト云ズト—声催セ也折角キテアダニ帰ルハ残念也打トケタル
—己ガ内々ノヘヤニヲク也源ヲ置ウシロ—キノドクナ迷惑也カタジケナヒハ
恐ヲ、イ也シンデンニ—ヲモヤ也末摘ヲル処也ヨヒノ~~オチ~~敬(クチュヘ)ミ
格子モヲロサズアゲ

【六九ウ】

ナガラアル也サナガラハソウナガラ也ヒルノマ、アル也梅—香デ弥以テ二月
(キサラキ)也至極ノ時節ト命婦思也御—源ノソバテハ物ノネスムベキ夜ノ

サマニモ侍ラサメルニト云此へキテハコヨヒコトノネイカニマサリ侍ラント
 ウソ云也源ノヲ頼故取ツクロイ云也其夜(ヨル)ノケハイニサソハレテナン
 マイルトアマシタ者也心―平生ハ心アハタ、シクキンリノ御奉公ニ月々罷出
 故エ聞又コンバンハ心静ニ聞タイ也聞―ハコチノコトハヨウナヒ也コチノコ
 ト聞シル人アランカキン中へ行通フ人聞コトデハナヒ也テ前ノコトハテ前ノ
 キ、シル人コソアレキン中ニハナヒ也卑下也ソシナコトデハナケレドモヲノ
 シ好バヒタベシト也アイナウ―命婦思ハフソウ忠ニヨフアルマイ也源ノヒク
 様ニアルマイト思也ソコデホノカニヒク也フカウヒカネバ善悪シレヌ也先面
 白聞エルナニバカリノソレ程ノ上手デナケレドモ元ヨリキンハ面白者故ヒケ
 バ面白也源ノヲ心ニモ面白思也イト―源ノ思召ハ此ヤシキアレワタリサビシ
 イ也サバカリ―父ヒタチノミコノ威勢アル処也処モセバイ様ニ大事ニイツキ
 カシ

(○私考曰モ、シキ内裏ヲ百敷トイフ是百官ノ座ヲシカル、故也万葉人丸
 ノ哥ヲ引百磯城乃(モ、シキノ)大宮人トアリ)

【七〇オ】

ヅク大事ノ女也コレ程ノ処モセマイ様ニイツキカシヅクヒメ君ノアル処アレ
 ルハ前(マヘ)ノ父君ノ思召ナゴリモノコヲヌ様也サゾ父君思ヒノコシテ死
 ナン哀也サマノノ事思ヒ姫君ヲヨイ身ニト思テアリタナランカ様ナアレタ
 処ニナル女メニ昔ヨイ女メアリテ立身シタタメシアル也抄ニモ書ウツヲノ俊
 蔭(トシカケ)ガ女メアルニ太政大臣ガ見テモドクニソコニトマリツレテ帰
 リテウ愛ナサルトアルソレコ、へ引テソシナ女メモコ、ニアルカト思也思ノ
 外ニ未摘ハ悪也此序ニモノモ云對面センカト思也打―源ノ思召ハサツソクナ
 ト思ナラント也ヒタチノ大守ノ女メ也レキノ也又ヲツテ云ハントタメライ

アル也命婦―知恵ノアル者故イタウ―メツタニキンノコトヒケバ源ハヲ上手
 故聞取テハアイソ尽(ツキル)故コヨヒハクモル也マラウト―命婦未摘ヘア
 イサツ也コ、ヘハイラヌ事ナレドモコヨヒハクモルト云也私ノヘヤヘモ客ア
 ルハツ也今晚コレヘキテハイトヒガホニモコソト句切也今―近日ヲ手ヲナガ
 ウ聞タイ也ミ格子―

(○兼道按ニ五丁ウ今心ノトカニテノ今ハ今コント云シバカリニノ今ト同ヲ
 ツツケ也ソグニモ今(インマ)ト云也)

【七〇ウ】

ソコデ利口ユヘ源ノソバヘ早フ行タイガ出デ何レモ早フミ格子ヲロセト云也
 キツウコトヒケトモ云ズ云ヌ也中々―源ノコレデハ聞ヌガマシ也コトノ善悪
 聞ワケル様ニモナクテ早ヤメル却テネタマシイ也ケ色トノ玉フト句切テネタ
 シトノ玉フト云バ源ノヲ心也ケ色ヲカシイト思召也是ハネタフト句切ノ玉フ
 ケ色―ト云バ命婦ガ心也◇(四丁ウ)物ノネスムベキ夜ノサマニモ―ネタカ
 ルベキヲトノ玉ヘバト云ヲコ、へ付ハ命婦ガ源ノ被仰ケ色面白ト思召タソウ
 ナト命婦ガ思也是ガヨイ也ネタウト切テノ玉フト云テヨイ也同―同コトナレ
 バケ色ノ近フ近辺ノコハヅカイナド聞カセヨト被仰也心―源ノ近フ聞セヨト
 被仰ドモ命婦ガ心ニ心ニクウ源ニオクフカウ思ス也イデヤ―近年親ゴシナレ
 貧キウデドコモカシコモフツガウ也ウシロ―左様ニ立聞サスハアナタヘツケ
 ウシロメタイ也ゲンノナル程尤也已云通也ケニ―我カ源人ハ未摘也皆宮(ミ
 ヤ)也打トケテツイイテヲ見舞申ト云分際ハソレハ分際アル者也

【七一オ】

俄ト云ガ隔句也我モ人モ打トケテニハカニカタラウベキ也カタラウベキ分際

ハ分際ソフ応アル者也哀ニイタハシウ思召末摘故ニ猶一我カウ云ト云事云
聞セヲキ近々コント也又一源コヨヒヲ出ナサル約束アランヲ出也上ノ命婦
云ハ天子ノ被仰ハ宮ハマメナ実テイナト被仰也此様ニヲ忍デ好色ヲ天子聞玉
フマイ也源ノ立婦テ笑也コト人ノ一方乳兄弟也他人ノ様ニ云ナト云一説也
又其方好色也コンナ事ヲアダナウハキナト云バ女ノ身デソノ方ナドハドウセ
ウニ也平生ナンギニ思故却テ云ゾコナヒデ命婦●ツライ也ソコデモノモシカ
／＼トエ云又也シンソコテモト●ヨリアレタ家也家モコボシテルト先ニ
アル末摘ノシンデン也末摘モノ云ケ色モ聞エンカ也源ノ思召テソロリト命ブ
カヘヤヲ立出也スイガイノスイガイハスイガイカキ也元ヨリアレタ家也ヲレ
残テアル也マダカゲアル処ニヨル也モトヨリ元ヨリ立テル男チツトシテヲ
ル也元ヨリ末摘ニ

(○私考曰スイカイハ透垣也疎ナル籬ナルベシ)

【七一ウ】

心カケタ男アルソウナトビツクリ也カキノシゲイカゲニカクレル也頭ハ源
ノコジウト也葵上ノ兄(アニ)ゴ也是ノゾキニ来タ也先デ見ユ源ノヲ出(イ
デ)故同アトカラツキクル也此タ一処ニ出也大殿ハ頭ノ中将ノ処也我処へ
モヨラズ源ノヲヤシキヘモヨラズ引別レ行故頭ノ中将ドウゾト思ヒ我モ一ノ
シモ忍ビノユク処アレドモ源ノナカヨシ故ニアトニ付テ伺ヒ来也アヤシキ一
頭中将ノシガ馬ニ(ア)ラズ隨身ノ馬ニノリ狩衣姿ムツカシイ也キン中へ
狩衣キル事ナヒ也ノウシユクエ也衣冠ハ宿衣也或ノウシ義式ニハ衣冠也院参
ニハ狩衣キル也此ハ源ト一処ニキン中◇(ヨリ)出ハキカヘタ也狩衣ノ時ハ
エボシ也エボシキテキン中へ行事ナヒ也此キケレバノキガ両説也着(キル)
ト来(キタル)ト也ノウシ同前デ出ニ狩衣スガタニナル故源エミシラヌ也サ

スカニ一頭中将ハドコへ行ト思ニ命婦ノヘヤへ入ル也源ノ乳兄弟也コレヘ
ハ入ハ奇妙(キメウ)◇(ナ事)也ヨウスアラントミテアル也ソレカラコト
ノネスル故ソレ聞テアルモフ源

(○私考曰カリキヌ元ハ布衣ト書テカリキヌト和訓セリ後ニハ狩衣獮衣雁衣
ナトノ字ヲ用ニ冬ハ裏アリ夏ハス、シノ狩衣ナリ今ス、シノ狩衣ハ四季通用
ス不寒也古通用ノ狩衣トハ頭ニ裏付タルヲ用玉フヨシ也凡五位已上ハ織物六
位已下ハ無文定例也其文色ハシキテ定ラス若年ハ紅梅萌黄ノ浮文盛年ハ堅
文也浮文ハ繁ク堅文ハ遠文也裏ハ表ノ色ニ同シ松重藤重ナド名アル狩衣ハ
表裏差別アリ狩衣ハ褻(ケノ)服ナレハ参内ノ人ハ著用ナキヨシ制アリ但久
安三年布衣烏帽子ヲ着シテ宮中ニ参入ノ例ハアレトモシカルベカラストイヘ
リ)

【七二オ】

ヲ出カトシタマツハ下心ニ待テアル也君ハ源ハタレトモエ思ヌ也マヘニ
頭中将ナリケリトアル隔句ナリ頭中将ナリケリ此タツカタトツ、イテアレド
モ頭中将也ケリ君ハ誰トモトツバク也狩衣姿故エミシラネドモ源ノワガ立
聞ユルトシラレヌ為ニサシ足ニアユミノクニアトヨリキテフリ也頭中将ハ
源ノハ入ト知ル故ズツトキテヲ捨ナサルガ残念ニ思故ニヲトモ仕也
○「諸トモニ御同道申シテキンリヲ出ガ入方トウラムルモネタマシウ腹
立ト也大内山ハキン中也大内山ハ京ノ西ノヲ室(ムロ)ノ後(ウシロ)ガ大
内山也ハヲ室デハ逢ネドモ是ハキン中ノ事ヲ大内ト云故ニ大内山ト月ノ縁
デ云也諸トモニ出ハシラスベキニシラサルヲ恨モ源ノザン念也ナレドモ源モ
頭中将トミ付故少ヲカシウナル也人ノ人ノ思ヒモヨラヌコンナ処ヘゴザル
事アル者カト源ノ恨ミル也

○「里ワカヌ―月ハ里々ヲワカズテラスソレハタレモ知ルコト也ドコヘ入ルト

（○大内山ト云山ノ縁ナケレバヨマレズヤ又山ト付ニ心ナシヤ曰タゞ云ベキヨフナシ山ノエン云ントテ也山ノジンサイナヒ也大内山ト云山仁和寺ノ山ヲ云ソレヲ借テ云々者也）

【七二ウ】

ヲハヘテ見ル者ナヒ也古夸（クハフ）父ハ日ノ入ヲツカケユキミル死ルトエナン子ニアル月ノ入ヲ見ルモノナシカウ―此様ニヲトモセバドウナサルトジマン也マコトハ―是カラ頭中將ノシン実ノ異見也ヲトモカラコソハカ／＼シキコトモアランニキツトシテヲ供召ツレテヨカラント諫言也私ドモヲツレナサレデ也元ヨリ頭中將供ニツク人デナケレドモ実デ云也カ様ナカル／＼シイアルキニハ事出来ント也カウノミ―カウノミトハコンナ事サイ／＼也頭中將ニミ付ラルト見ユカノ―夕顔ヲ源ノヲ取ナサルソノ始事源ノ知故カノナデシコハ源ハ後トシレドモ頭中將シラヌ也ヲモキ―コウ◇（ト）ハゴノコウ也アチニソレトレバコチラニコレルト云ツリ合ニシタ者也コウハヲビヤカスト云字也コレハツリ合ニシテ持テアル也此様ニ尋ネ出スツリ合ニハコチニハ女メノ事シリアルト也ヲノ／＼―源モコヨヒユキ処アレドモ頭中將モユク処アレドモヤラヌ也一ツ車―一ツ車ニノリ景氣ヨイ時分二月―面白ケイキ也大殿ハ頭中將ノヤシキ也サキ―ケイヒツサセズ人ミシラヌ廊下デ狩衣ヌギノウシキル也ツレナウ―ソナ処ヘ行ヌ顔シテ今キン中ヨリモドル顔シテ笛々◇（オトゞ）吹合キンリヨリヲ物ノ様ニ思テコマ笛取出也

（○夸父事文選ニモ引テ書コト多シ）

（○九丁ヲ甘ヘテハ児ノアマヘルノ心歎曰然リ甘ノ訓カ曰然ラン）
（○月ノオカシキ程如何曰コキ雲ニ非ス薄雲ニヲカシキ程ニカクレタル也道ノ程ハ道ノ間也）

【七三オ】

九丁ヲ五月十一日會

△いと上手におはすれば―ツレナウ―ハ面ニ末摘ノモトヘ行様スミセズニ平生ノ顔デカハツタ顔セヌ也今―ハ今キンリカラ退出シテクル様也笛ドモハ兩人トモ吹也オトゞ―葵ノ父ゴ也イツモ源御ホンソウ故源クルト聞バソノ俣来ルコヨヒモイツモノ通也コマ笛―コマ笛ハ平生ノ笛ノ様デ―*穴少（スク）ナイ平生ノハ七穴也コマハ高ライノ笛也コマト書―トヨム左大臣殿上手故面白吹也御―左大臣殿ノコト待コイ也内方テモ葵ノ召遣ノ女トモニヒカセン也コノカタハ樂（ガク）ノ方ヘ也御コトハヒロイ也キン（琴）箏（ソウ）和琴（ワゴン）アルナニモカモ―ニシテコトゞ云也分テキンソウト云バソレ切（）也中勢―ハ葵ノ君召遣ノ女中也源ノ心ガケ源ニ心通シタ人也ワザトノ字琵琶ヲワザニシテ平生ヒイタト師説也コレデ句ヲ切ワザト也頭ノ君ハ此ノ中將葵ノゴ兄弟也頭ノ中將ノ心ガケルニハモテハナレ承知セズ源ノタマサカニ被仰好色事也源ニハナビキテエソムカヌ也自（ヲ）―ヲノツカラソレガロ見スルカクレナヒ也大宮―葵ノ母ゴ也桐壺ノ妹ゴ故宮也ヲ女メゴノムコノ源ノ心ガケン故シウトメゴノ心ニハ叶ズ也物―ケ内ノツキアシイ也

（○私考曰コマフエハ高麗笛也又狛笛トモシルセリ常ノ横笛ヨリ小キモノニシテ右*方ノ舞樂ニフクモノ也狛笛ニハ名物アリトモミエス）

【七三ウ】

源ノ事モエ忘レズ内ノ首尾アシイ也ハシタキハ不相応也ドレニ逢テモツキアシイ也サマシードトモナフヨリツキナヒ故ウトサビシクスゴイ也内々ノ朋輩モ旦那ノ氣ニ入ラヌ故ニツキアヒアシイ也前ノワザトビワヒカズヨリフス也師説ハ事(ワザ)ニシタ也活字也然(ワザ)ト、云ハゴノ詞也カルイ也俗ニ云ワザト也ワザトヒカヌ也マヘ、付テシマウ也タエテ内ノシユビ悪故イツソコ、ノ奉公引源ニ逢ンユヘ引カント思ドモ源ニ心アル故引ウト思ドモサスガニ也ドウセウゾカウセウゾガ乱也君―源ヤ頭中將ハヒタチノ宮デ末摘ノヒクコト思出也キンハ七絃ノコト也哀ゲナコサビシイ也家大ナレドモコボチ取チヒソウスマイスレキ、故ニヨイ処ミツケレドモンナサビシイ処却面白思也コレ迄末摘ノヨイヤラ悪ヤラ知ヌ故ヨカラント思也アラマシ―アラマシハカネテ思也源デモ頭中將デモ通フニ付末摘ヨウギヨク人ガラヨリアクガレ心乱レバト前カドカラ思ヒスゴシスル預ノ字ノ心也若アラマシノ内ニイトオカシフヨイカハイラシイナラバ也サテハソ

【七四オ】

ウシテ也アノアレタ処二年月ヘテアルナラバ也ミソメ―ソレヲミテ通シテアラバ人ニモ―通フニ付テハアソコヘ通ト人モ取サタニアハン也我心―ソノ様二人ニモイ、サハガレル様ニナリ我心モサマアシ(ク)人ドウ云テモクルシウナヒトソレ程迄中將ハ思タ也若ワガ心ニ順ヒ末摘ヘ通ハヨカラント迄思也コノ君―コノ君ハ源也王命婦ガヘヤバカリデアアルマイ末摘ノモトヘモ行ント思也正(マサ)ニサテハトハ正フニ倍ハソウアツテソノマ、スグシテハラクマイ也ナマネタマシウキツウデモナク少々源ニ宮トラレンカト危ク思也其後―草紙ノ地也源頭中將両方カラ末摘ヘ方々ヨリフミナドヤルナラン也イツレモ―源ヘモ頭中將ヘモ返事セヌ也覺束無―頭中將返事コヌ故覺束ナクサテ

ヤマシイ也元ヨリ末摘宜ト思故コノ通アマレ悪也ウタテハ悪也コレ程ヤルニ返事セネバ也サヤウ―アンナワビタ処ニアルスマイスル人ハ也サビシイ処ニヨリ思ヒ残コトナク色々ノ事思故残ナイ也ハカナキ―花紅葉月雪雨ノジ節也四季ノソウ木也ケシキニトリナシテ哥デモ(ヤル)ナリ

【七四ウ】

心バセ―取ナシナントシテコチカラヤルニアチカラ返答ミ意バセヲシハカラル、也ソウシテコソアノ様ニサビシウシテアル人ハ面白哀ナラン一向ニ返答セヌハアシイ也ヲモシトテ―元ヨリヒタチノ宮ノヲ女ゴ故レキ、也ナンボレキ、デモイトカウ―返事モセズナゲヤツテヲクハカリ也心ニツカンブ風流也マイテハマシテ也心―心ガイレツク様ニセハシナフ弥アコガル、也モト心カヘデ立故キウニイレツク様ニアルヲイラレ心(ト)トモ云徒然草(ツレ、クサ)ニイラナクフルマイテトアルモノノツシリトスル事也イレズニ也大和物語二人ノ衰(ヲトロフ)コトイラナクナリユクニトアル故サハガシウナヒ事ナレドモ威勢ナヒ事云バクアイ遠様ナレドモ元イラレルト云訓カラ出也勢ナケレバ静(シヅカ)ニナル故也大和物語ニ二処三処アル是ト心違トモ同訓ヨリ出也例―源ト頭中將トハイツモソウシタルイナ事互ニ隔ズ云也別シテ細スル事ハソノ通一通アリベカ、リハ云也シカ、トハ末摘ノ方ノ返事ミルカト云ハヲフミヤルト知ル故ヲシツケ云也前夜(ヨル)ツカマヘル故ヲシツケ云也心ミニ―テ前

【七五オ】

カラモ心ミニウス、トホノカニ云テヤルガハシタナクテ―返事ナヒハフソウヲウ也サレハヨ―源ノ心ノ中(ウ)也サレバソレヤコソ也サゾフミヤルラント思ニソレヤコソ也頭中將ノ方カラモフミヤル也イサ―インニヤコチニハ

見ヤウトモ思又也元ヨリ源へモ返事コネドモソコミントモミタトモ云又也シ
 モハ助字也ソフ思又ニヨリ返事ミル事モナヒト也人ワキ―頭中将ハ源ノ被仰
 様ニキヤク心ガアル故二人ワケシテ我ニハヲコサズ源へハ返事ヲコスソウ也
 トネタム也君ハ―源ハ末摘ノ事フカフ思又也アチカラ返事モセヌ者ニスサマ
 ―ナンノヲケト思也カウコノ―カクノ如ク頭中将ガフミデモヤツタ様ニ云故
 コト多ク―偕ハ其方ニモフミヤツタトナドチラカラデモ詞カズ多フミ数ヤ
 ル方ヘナビカン也シタリ顔―或源ガフミヤラズニヲケバ頭中将フミヤレバ頭
 中将ヘ必ナビク也今デモアル事也女ガ頭中将ヘ対シテ源カラモフミクレドモ
 ヲ前ヘ従ント思故ニアチハソレナリニシテト云也ソフ云ハルハ、ハ残念也ソレ
 程ニ思又事ナレドモ頭中将ソフ被仰故マケマイノ心ナリ命婦―

【七五ウ】

命婦ヘ被仰ハ返事モナサレ又故ニ此様ニモテハナレツキノケル様ニヒ立ノ宮
 ノスルハセ間ノ好色人ノ様ニウハキノ方ヘ疑ヨセルナラント也ヨセルハスキ
 〳〵シキ方ヘヨセル也サリトモ―ソチカラソウ思召テモ此方ニツイモウユカ
 又ト云キニ非ズ長フミルキ也人ノ心ノ―是カラ源ノナル程今迄ステタ女モア
 ルソノステタヨウスコ、デ被仰也女ノ心ノトカニナク我ヲ恨タ女アツタ也此
 方ニ思様ニナヒ也自(ヲ)―アノ方カラ我ヲステタレドモ此方カラスト様
 ニナツタモアルハアルト前ノ事被仰也サテ女ノ心ノドカニテ女ノヲヤモナク
 兄弟モナク尻(シリ)ヲオス事ナフテ也本人ヨリヲヤ兄弟カラシ様アシイ
 ト恨モアル末摘ハヲヤ兄弟ナヒ故ソフナヒ也却テ心安テヨカラント思故カウ
 云也中々―ベキヲ我ニアハシテクレヨ也ヲノ字ノ間ニイツデモモノアル也イ
 デヤ―命婦ガ返答也イデヤハ発語也平生思召様ニヲヤシキハ風流也カサヤド
 リハドコヘデモ行時ツイ序ニ立ヨル也サイバラノ哥ノ心也サイバラニイモガ
 ヤド―ト抄ニ引テアルミチヨリノキミ也ヲ立ヨリナサレ風流ナ事

〔〇十一丁ヲ思ハズニ◇(ノミ)アルニナレハ女ノ男ヲ思ヌヤ曰コチノ思様
 ニナヒト云事也ソウシタ理屈デハナヒニト云事也〕
 〔〇十一ウアヤマチニナリヌベキニテ句切上ミノコト云切ヤ曰然リ心ユルサ
 又故ワガアヤマチニナルナラント云切下ハヲヤハラカラノ心ノドヤカナラン
 事云立ナリ〕

【七六オ】

アルマイ也●●●●●末摘ハサシ出ズツ、マシイ故也エシモエナラン也エンモン
 ウハアルマイト心アマル也一ヘニ―末摘ノヨウス云也引入テサシデタ事ナイ
 也ソノ方ハシモ別シテシモニカラアル也セ間ニハアリ難様ニ也ワガミヘガ、
 リノ通モノガタリスル也ゲンノソレ聞ラウ〳〵―上ロウシウカドメキキツト
 シタ処ナヒソウ也イト―ソコデ引込テモノ静ナト云故コメカシハヲウヨウナ
 キミ也ヲ、トカモヲウヨウ也ソナガ猶以カハイラシカラント也ワラハヤミ
 ―是カラ若紫ノワラハヤミノ時分也今迄ノハ二月比也源ノワラハヤミ位ハ三
 月ノツゴモリ方トアル故シバラクフルイヲチン故クラマヘ行故三月ヨリ前ヨ
 リ煩ヒ三月晦方ニクラマヘ行故コレヨリ前イザイトハ二月ノイザヨイ也王
 命婦ニヒタト被仰中ワラハヤミスル也人シレヌ―ハ藤壺杯ノ事也ワラハヤミ
 ニナリ又人ノシラン御内々ノ藤壺ノ事也藤壺ハクラマヨリ帰リ藤壺ノ里ヲリ
 ニ四月ノサイ初カラ逢ソンナ

【七六ウ】

事カタ〳〵ノ事故ヒ立ノ君トダヘタ也春モ夏モスギタ也ソレカラ秋ニモナリ
 静ニヲモヒツバケ藤壺ノ事思ヒ忘レズ又去年ノ秋夕顔ノ死スル事モ思也カノ
 ―時節ニ感也去年ノ此時分砧ノ音ヲ聞ハ五条ヘ往也ソノ聞ニクイサヘ今ハコ

ヒシイ也元此ヒ立ノ宮へ此様ニヲ心カクルハトカク夕顔ノ様ナ物静ナ心安ニ逢タク思故末摘ノ静ニ夕顔ノ様ニシテアル故ニ云ヨル也夕顔死タ事也雁ノ聲聞(キヽ)去年ノ事思出故末摘ノ事命婦方へヒタト云ソレデモ猶以覚束ナク返事サへセヌ也ヨヅカズハ世ノ方へツカヌ也末摘返事セヌ也ツイニ源ノフミニ返事セヌ人ナヒ故也マケテ止マイノ心ツク也命婦―イカナル―ハドウシタ事ゾ也イト―カウシタ事ハ我知ヌ也フミヤリ返事セヌ女ナヒ也イト―モノシハフクハイノキミ也ゴキゲンアシイ也命婦ガ心ニ源ヲ笑止ト思也モテ―私モヒ立ノヒメ君へユキ一向ニフソウ応ナトハ云ヌヨカラントハ云也タゞ―ヲシナメテスベテ末摘ノ

(○十二ウモノシハイツモノ上ヲ承ルモノ歟曰然リヲチアカント本快ナキミアルノ也)

(○同ヲモムケ如何曰モトハ面(ヲモテ)ヲムケルト云訓也フルイ方へ赴ケルヨイ方へ赴ケルノ事也)

(○イトヲシハキノドクセウシ也)

【七七オ】

心ガ物包シイ事セン方ナヒ程モノ包也手ヲ―ソレカラヲコリ手ザシシテ返事セヌ也ソフミエル也ソレ―ソレコソセ間ノ人トハイカウ違也モノ―物ヲモ思ヒシラヌ年ニ非ズ末摘ハ年ユク也モノ思ヒシルマジキ程ヤトヤノ字入レミル也独―女ナレバ自身ニエフリマハサンナレバサヤウ―カヽヤカシイハ恥シイ也ナニコトモ―ナニ事モヨク思ヒシヅマリウイ無常シラント思也◇(ウトサビシイ処也) 思フニコソト句切カウハ云へト也ソコ―ワレナレトモナフツレ<()ニ思也葵上ハヲ心ニ叶ズ夕顔ハ死シテドコトモナフサビシイ也同―ワレモツレ<ニ思ゴ時節也末摘モサビシイ也此方カラ云フミニ同心ニ―

也ナニヤ―ナニヤトハ或◇(男)シウト有ヲ聞ノコン夜昏礼ノト云様ナ事ナク其アレタ竹エンニ居(イ)テタヽズミテアリタイ同道セヨトイト―返事モセヌ故ドウシタ事ゾ合点(ガデン)ユカヌ也カノ―御同道申セ也末摘ユルサズトモタバカルハ了簡◇(セヨ)也必ダマス事ニ非知バウシテクラス事伊勢ニモアル事也心イラレシ―ジヤ程ニトテ此方心イラレメツ

【七七ウ】

タニヲシツケワザスマイト命婦ニカタル也猶―是カラ命婦ガ源ニセメラレ心ツラサニ色々事思也源ハココラセ上セ間ニアル◇(好色)人ノアリサマヲ大方聞アツメル好色ソウシタスキ也ソウシタクセデ聞(キヽ)タガル故サウ<―サビシキ夜ヲトギ杯シテアルヨイニ也ヨヒキハソコニキルキミ也ヨヒニトノキシテアルチヨツトシタ序ニ末摘ノ事云タブン也カウシタ人アルト云也カク―ソレヲ源ハワザト被仰也命婦ハ一ザヘクハイニ話ス心ヲ源ノ思ノ外コミコム故ナンギ也末摘ソレ程スグレヌヨウギナレバ源ノ心ニ叶ヒ末摘モヨケレドモ悪イ事シリヨイ様ニ語故ニ源へツケ姫へツケキノドク也ヒメ君ノヨウス源へアハシテニツカハシウナヒ也中々―却(カヘツ)テヲ為立シテ導シテ笑止ナメミン源忽イヤニナル也君ノ―ゲンノコレ程実ニ被仰ヲソレヲ打ナゲニシテヲクハ主人ノ被仰ヲ聞ヌハヒカシク事也父ニコノ―父ヒタチノ宮ノ御堅固ナ時サヘカウ古(フリ)タルアタリトテ問人ナヒマシテハ父死シタルバ也アサヂノヨモギノハアレタ処ニ多者也今猶

(○十三丁ウフリシタルハ如何曰フルウナツタキミ也世ニ用ラレヌ事也百人一首ニ嵐ノニハノ雲ナラデ我ミヨニフルト云ト同コト也)

【七八才】

以タヘタ也カクヨニ—其人ダヘシタ処へ源ノ御ヨウスノヨニ—匂クルハ也ナ
 マ—末摘ノモトニ却テアルスコシ故ナマ女トモ也ナマナリナキミ也エミーエ
 ムハ笑也マケテハ設テヨイ事アランカトウレシガリアル也猶返事ナサレト段
 ヲ責ル上ニ猶責ル也浅マシウ—末摘ノ事也一向ニフミヲ見入又也命—ドウ云
 テモ返事セ又故ソコデ命婦ガ思様也コレニ隔句アルマヘニ君ノカクマメヤカ
 ニ—ヒガ／＼シカルベシト云父ミコノ時ニサヘ人コヌニ今ハ猶也ソレニ源ノ
 コザルハナマ女バラエミ従ト也是ヒガ／＼シカルベキニツバカヌ也カノヒガ
 被仰ハソフアルベキシ節ニ也物同道申シテヲ心ニ付ズハソレハソノ通ヨ也ナ
 トセウニ也物ゴシニ—間ダ也御同道申サンソレカラ先(サキ)ハ知ヌ也ソレ
 ナリニ止(ヤメ)也又—若又ソフアルベキニテ源ノヲ心ニ叶ヒソウシタ果報
 末摘ニ在テカリソメニモ源通トモ父死シ末摘ノウシロニ立キリモリスル人ナ
 ヒ也アダメイタル—是廉ソウ也命婦

(○十三丁ウナマハモノナレヌ此調法ナキミ也ナマモノジリト同コト也)

(○十四丁ヲマケテハ設テ也下地カラヨイコトアラントウレシガルキミ也設
 ハ拵ルコト歟曰然リ預ケン此コバヨイ事アラントウレシガリアルコト也)

(○十四ヲアタメキヲアタメイトヨムコト如何曰通故也アダメキトヨムモ可
 也メイトヨメハ和ナ故也)

【七八ウ】

命婦ハアタ者ノ好色人也前ニ源ノ女ノミニテハ猶ハシタナカラント被仰也父
 君ハコレガ父兵部ノ大夫也命婦ハマ、母ニカ、ル八月—源ヲ引入レル也八月
 廿一日ニモセヨ四ツ四分(ブ)位ナル程ヨヒスギ月マツ程也星—聞ヘル也命

婦マイリアレバモノスゴイ夜ニ昔父ゴノアル時云テハナシテアル也イト—命
 婦ガ心ニコヨヒハ幸ノ夜ト思ヒ内セウデ源ノ方へ伏ヤル也末摘ニハナントモ
 云ズニヤツタソウナ也作者ノ詞也例—イツモ忍(シノブ)通ニシテゴザル也
 月—源ノゴザリヤシキノヨウスミル也九前ト見エル也ウト—イヤラシイ也ア
 レハテ家也源ノ常ニニギハシイ家ニアレバ也キン—源ノゴザル故命婦進メ
 テ—也ソバノカスハ進メルキミ也ケシウハ微音(ラン)ニカキナラスハソレ
 程アシウナヒ也スコシ—命婦ガ心ニハ古風也當流ヒカセタイ也好色人ノ命婦
 カ事故ニ也心—ハ源ノ聞ナランモチツト風流ニシテシンゼタイ也人目—シハ
 助字也人目少ナヒ処ナレバズツト入ル也命婦—ソコデ命婦／＼トヨブ也今シ
 モ—

【七九才】

今サラ驚タ顔シテ我云テヤリ置サテハ源ノヲ出ソウナ也シカ／＼—アノ通ニ
 源ノヲ出ソウナ也常ニ—常ニ私ノフ取持ジヤト被仰私心ニハ叶ヌト御返答云
 テアル也自(ミ)—直(ジキ)—源行直ニ云聞サントスル也如何—ナレト今
 ヲ婦ナサレトハ云レマイ也ナミ／＼ノ—タ安キヲ人デナケレバソフ云レマイ
 也非(ナシ)—(心)—ヲ笑止ナル程ニモノゴシニ何(ナン)デモアチカラ被
 仰ヲ聞ケ也イト—末摘ノ心ニ也人ニモノ云様事知ヌ也オク—オクへ引込サマ
 也源ノ縁位へ来(キ)命婦呼(ヨフ)聲也命婦ヲシコナシソナフスイナ事
 デナヒトツラガラン様ニ云ヲシコナシ也打笑—年ユカヌ様ニナサルハ心苦イ
 ソウセヌガヨイ也限ナキ—限ナキ貴人デモオヤ—親ガ取アツカヘバ自身ニ心
 用事ナヒ也カバカリ隔句也限ナキ人モト句ヲ切也限ナキ人モヲヤガアツカフ
 故—トハ云レヌ也限ナキ人モト句ヲ切テヤノ—程コソ若テヲランソウハナ
 ラヌ也限ナキヲ即貴人デモカバカリ心細—トツバケル也ヨヲ尽セズ—其様ニ
 恥

ニソウジミ也末摘ハキイツトリトシタ人故源ノヲ出ニ俗ニ云色トル事ナヒ也源ハ天下ブソウノビ弗(人)ナルヲイト云テモ、尽ヌゴビ男也打ソノ上(ウヘ)ヲ忍ビヤカ也ヨウイハ心ゲソウノ様也ミノ御用意也イミモノ和ニキヤシヤナリ源ノ物語故イクタビモ云ハデモシレタ事ナレドモ此様ニ云也先ニ心アル人ニコソミセタイ事也此末摘ナドニハ、也末摘ハ心ハキ、セヌ人故ニナニノ、ナンノヲ出テモ出バヘセヌ処也源ノソノ様ニ取ツクライ打ヲ見テアツタラ勾ヲシレル人ニミセタイ也コ、デ此様ニシテモ末摘ハミ分ル人ニ非ズ源ハソレシラズ末摘ハヒタチノ宮ノ女故ニアノ様ニ宜思召サントアナト命婦ガ源ヲ思也アナ、併末摘ノヨウスオ、トカハヲウヨウ也宮ノヲ女故心ハウツトリトシテアレドモヲウヨウ也ウシロ、心モトナウナヒ也ウシロミムク様ナ心モトナイ也ウシロメトウニタイシテ云也出スギタイキスギタ事末摘ニハナヒト心

【八一オ】

安也コレ命婦ガ心也我常ニ源ノ命婦ニ其方ガナカダチノシヨウアシイ也ソ略ニスル故末摘ヨリ返事ナヒト我命婦ガワガ也源ニセメラル其ツミノ逃(ノガレ)処也心、アマレヲセメナサル故ツミサラン為ニスレドモ末摘ヨウギアシク心アシイ故ニ源ノツマデナヒト思故後ニハ末摘ノモノ思ニナラントヤス、キノドクニ命婦思也君ハ、君ハ源也人、ハ末摘ハヒタチノ宮ヲ女メナレバソノ品ハ宜也ザレ、ハアマレシヤレセ間ノマツスグナ事カラハ裏ヘマハリサシハシヤレタ也マツスグナ事ヨリ裏ヘユク当世ムキノ用意アルヨリ末摘ノ様ナガヨカラント思也、シバ、ミハナンキバミ曲バミノバ、ミ也心ナヒ也ユヘノアルナリソレヨリハウヘニ宜カラントオクユカシウ末摘ノ事思也トカウト云中ニ女中方ソレヘ出ト源ノ茵(シトネ)近クモノ隔テアル也忍、ソロリト云リアル也ソコヘゴザル故タキ物ノ勾ヒ勾フテクル也エヒノカ、エビハ段々説

アル三色アル也抄ニ衣被ノ香トモ又裏被ノ香トモ書也又包(ツ、ミ)ニ衣モ書テアル也イヒト書モエヒモ心ハ同事也衣ニカウムル也キルイニ焼物シミツク也イヒモソレ也

【八一ウ】

ハトカハト書ハ葉被(ヨウビ)也ハセンダンノ皮ヲハタキ命ノ抹(マツ)香ノ様ニシテアルソレヘ末摘ガ出故ニハツト句也エビ香ハセン香ノ様也ナゼエビト云ナレバエビカヅラハ長者也ソノタキ者エビカヅラノ様ニシタ故ニエビト云ト也河(、)海ニ延喜式引エビ香ハ麝(ジヤ)香ノ一名トアル是ハナシデモタキ者也延喜式ニアルモナシデモ衣ニウツス香(カウ)故今ツ、ムト云裏(ユウ)ノ字書ハジヤ香ト延喜式ニアルナニノタキ者デモ衣ニウツス故ナシデモエビ香也ジヤ香ニハ限ラヌ事也師説デハエビカヅラニ似タ●線香ノ様ナト云也レキ、ノ説故皆カタ付ニクイ也先ナニブンタキ者也オホハノツシリトシタ也サレハヨト、ヨカラウト思ニソレヤコソヨイハト也◇(ヨイト)ヤニユイト几帳ゴシ故知ヌ也年月、年来年月ヘコナタノ事思ヒワタル也弁舌宜イヘドモ也マシテハフミノ返事サヘナヒ況ヤソバ近返事ハ一向ニ返答ナヒ也ワリナノ、源ノ歎息也セン方ナヒトナゲク也○「イクソタビ」此哥モ聞ヘニクイ哥也イクソタビハ源氏ノナン十度(ジウタビ)

兼道按○卅三ヲエヒゾメノヲリモノトアリ師説エビハブドウ也エビカヅラハブトウカヅラト見ユ

○私考曰エヒハ裏衣又ハ衣、被ナリ薰、衣、香ノ事也トイヘリ

【八二オ】

モ也シ、マハモノ云又事也説々アル進退トモ云棲遑(セイコウ)トタチモト

ヲルコトトモ云先ハムゴンノ事也無言八講ト云事アル經文ノ論義スルニ難者互ニヨリカウ云文(モン)ノ心ハカウイヤソウデナヒト云衆議判者(シウギハンシヤ)トテ判者ヲリ兩方ノ論義ヲ聞勝負定ム聲(ケイ)ヲ打テバ云タイ事アレドモ無言ニスルソレヲシ、マニスルト云也ナンボウ云ヤレドモ返答センヲムゴント云也イクタビカコナタノムゴンシテアルヲ此方ニ負テイ、ヤル也ソレハ此方ヘモノ云ナト被仰又故ニ負ナガラヤハリ同様ニ云也モノナリ頼ニイクタビモ申也(申也)ノ玉ヒ一イツソ云ナナレバ云ナト云切ヲクレデ也ヨカンハ願也タマハ是ハ古今ノ哥ニ◇(抄ニ引)思スハトコキンノ雜ノ部ニアル玉ダスキハカケル者故カケテヲイテ切テモハナサヌ也カケテヲクト云キ也ソレヲコレヘ用テナゼ云ナト云ズカケテヲクヤクルシイ也女君ノメノト、アレドモメノトニ非ズメノトノ子也末摘ノ乳兄弟也若イ者也ハヤリカハキバヤカナソハノトシタ女也イトカフ源ノイクソタバト被仰故例ノモノ云ズ元ヨリ返哥モ云又故キノド

(○八講ニ無言アル也八講ハ法花ヲ八タバコズル事ナリ)

【八二ウ】

ク也サシヨリ末摘ノソバヘヨリ末摘ノ返答ノ様ニ侍従カ云也

○「カネツキテ―無言ニカネ打ト無言スルソレヲ此ヘ用カネヲツイテモウ云ヤメト云論義ノ様ナ事ニ非ズトヂメルハ云ヤメル也被仰ナト云ギデハナケレドモ此方ニエ御返答云ヌハアヤナイカイナヒ事也アヤハモン也ブ風流ナ事ト云也モンノナヒハナンデモヨフナヒ也若ビ―小侍従ハチコナレバ其聲若(ワカ)イ也ランモリトシテヒタチノ宮ノ女ゴトハ聞エズカルノシイ也ヲモリカノカハ付(ツケ)字也人ヅテ、ハナク直(ジキ)ニ末摘云様ニ聞エル是モ小侍従イキスギタ也ヤハリ末摘カウ云ト使ノ様ニイフモ宜也ソレヲ末摘ツケ

聲ノ様ニ云也程ハブンザイ也ヒタチノ女ニシテハシヤレタト思也メツラシキニ―ツイニ返答モナシ口上^{*}デ先方カラ返答ナヒ故イカト思ドモメヅラシイ故ニ中々ハ源ノ御返哥承リ此方クチフタガリ◇(エ)云ヌ也

【八三オ】

○「イハヌヲモ―是モ古イ哥アル也ソレヲ上ノ句ニ引也◇(抄ニ引)心ニハ―ト是ハシシンノ事也云マイハケリデ云ヨリ苦シイト也コレハソチヨリ云ヌハ元ヨリマサツテ此方ノ云事御承引ナヒトハシラネドモシカシナガラ云ベイ事ヲシコメ云ヌハ此方ニクルシイ也ナニヤカヤト―サマノ実デノ心尽シテ年来ドウカウト被仰入也数(カゾ)ヘラレル様ナ事デナケレドモヲカシキハ風流也面白モ云マシテ―ハシン実ニモ云也トカク返答ナヒ也イト―源ノコノ様ニヲ、セカケラル、ニツイニ返答セヌ人ナクフミノ返事セヌナヒ也此様ナモセ間トヨウスカハリケリ面白思也思―其ノ様ニ返答セヌハアチラニモ心通フ人有テ此方ニハツレナヒカト思也ソコデ隔ノカラカミ様アケツトハ入也ヤヲラハ和ナキミ也ハトヲト通故也ソロリトハ入事也命―源ノミチビキアン内者也コレハヒヨシランフリシテ我ヘヤヘ引込ダ也ヘヤアル源ノ初テゴザルズ―イツソワレハシランフリシテ我ヘヤヘ引込ダ也ヘヤアル源ノ初テゴザル時ニ命婦ヘヤヘゴザル事アル也コノトモハ先程ノ返カシテ小侍

【八三ウ】

從ヤ二人三人ツク末摘ノ召遣ノ若イ人也ハタハ助字也源ヨニタグイナヒ源故ヲトキ、ハ天下無双(ブソウ)ノ人トヲトニ聞テアル也ヲトロノ中々ゲウサンニモテサハガヌ也ヲトロハヲドロクカラ出タ訓也ソレデゲウサンニ云テヲドロノト云也惟―末摘ハ思ヒガケモナヒ也ソウシタヲ心遣モ末摘セズニシテアルヲキノドクニ思バカリ也サルハソウアル也源ノヲ出ト云心遣

(ヅカイ)ナヒ也キノドクニ思也サウシミハ末摘ノ心ニハタゞ動テンデ我カワレニアラズトドウテン也前後弁ズ恥(ハツカ)シイ也今ハ源ハソコヘハ入タギ故ソウアルガフビン也アイスルキミ也マダーソノ末摘モノモ云ヌマダ世一ヲツト杯ニ物云コトツイニナヒ也打一ハ宮ノ子故父ゴシナレ家譲テモ人々アリイツキカシヅカレタクセ故ニアノハヅジヤト源ノ了簡ナサル也心エズハ障子ノ内へ入テアル手サグリデモ鼻ノ大ナノセノ長ヲミル心エズハ悪(ハル)ソウ也ナマハモノ、キツウイトシイニ非ズチトバカリナマノカシナダチメノナマ也カタマラヌチツトバカリ也笑止ナ是ハ悪ガヒヨシナ事ト思也ナニコトニハ家ハキタナシ末摘ハモノ云ズ

【八四才】

容義ハ手サグリニアシク思ハレ打一ハ歎息也サテノ夕顔シナレ其カハリト思テコ、ヘクルニサシテカハラヌ悪ト思也夜一ヲ心トマレバ朝迄ヲレドモ心トマラヌ故早フ出也命婦ハヘヤニネテアレドモササガニネラレズドウ落(ラク)ジヤクシテト思也シン一源ノソコニヲ止リナサルヲ知タ顔スマイ也ヲ車ノ近辺迄送ラント思ズネタフリシテヲル也君一ソロリト忍テ車ニ召シテ帰也二条院ハヲノシノ御殿也前後思ニ叶ヒ難今迄サヘヲ心ニ叶事ナヒ猶一トカク末摘アシイト心ニ落著シタ也カルラカ一末摘ハヒタチノ宮ノ女メ故カルウナヒ也ラハ付字(ジ)也ササガニレキノ故モウイヤジヤト云モキノ毒也ソレトモタビノ行モイヤ故也思ヒ一倭朝也思ヒ乱レヒヨシナ事シタト思ヒアル処ヘ頭ノ中将クルキツイヲ朝寝也サゾ御ヨウスアラシタバドコゾヘヲ出ナサレタナラント也源ノヲキアガリ心一タゞ相手ノナヒネヤ故心ガスルミ長寝シタ也内一キンリカラゴザルカ也シカ一ナル程被仰通ジヤソノ通キン中カラ罷出也マ、也ハ

【八四ウ】

ソノ俣(マ、)ト也朱(ス)雀院ノ一ハ紅葉ノ賀ノ行幸也前ノ紅葉ノ卷ニモコノ沙汰アル今日マヒ人ヤ樂人ソコヘラレ役人ヲ定メラル勅定也右ノ勅定ノ趣ヲ父ノ左大臣殿ヘモ云ハントテ退也マカレデ侍ハキン中ヲ退出シタ也ヤガテ一是カラ直ニキンリヘヲ出ト也マカレデハ直(スグ)ニキンリヨリヲ出ノ様ナレドモソレニ非ス我ヤヘモドリ父ノヲトゞヘ云ヲ源ヘヨツテ云也サハトハソウアラバ也上代ニハ貴人ハ朝カユヲマイリ時ウツリ飯(メシ)上ル是ヲコ、ハイ、ト云也今ハ蒸(ムシタ)ヲイヘドモ古ハ平生ノ飯(メシ)ヲコハイ、ト云是ハ粥ニ對(タイ)シテ云也客ヲマラウト、ハマレニクル者故也マレ人(ビト)ヲ略シテ云也マレ人()トモ云也マイルハ奉テ上ル事マイルト書(カイ)テアル也引一源ノ車ニ頭中將ノヲ車ニ両引ツゞケナレドモ一ツノ車ニノル也◇(車ハ)コ、ラノ疊(タ、ミ)五疊敷モアル御レキノナレドモ一処ニノリ咄シテ行也奉ハノル事也キルモノキル事モ車ニノル事モ貴人ノハ奉ルト云也車デハ猶ネムタイ故頭中將センギシテカクス事アラシタベノ事ナゼ被仰ヌ也カクイ給ハカクス也

【八五才】

事ドモ一楽()人舞人()定アル故内ニ一旁ラ事多故ソノ日ハ一日キン裏デクラス也カシコハ末摘ノモト也末摘ノ方ヘコヨヒ行ネバナラヌ也初テ通フ人ノモトヘハ三夜(ミヨサ)ハ通ネバナラヌ也イヤナレバ行ネドモイヤト云ガ源キノドク也夜明レバ三日ナガラ朝後朝(コウテウ)ノフミヤラネバナラヌ也ソノ日ハ朝頭中將來(キ)フミヤル事ナラヌ也其夜モ行レヌ也フミヤタマデコヨヒゴザル事ナラヌ事知レタ也雨一而モソノ日雨フリ出処一ハ処セバク也アマレウツトシイ故ゴザリタケレドモ末摘ヘゴザリトムナイソウ也雨一ハドコヘデモ行ニ雨フル故ト云テ立ヨルシユカウ也是ハ前ノ催馬楽ニ◇

(十一ウ)イデヤート云マヘニ命婦カサヤドリト云ソレヲコヘ取テ云也カシコニハ朝後朝ノフミ残テコネバナラヌニコヌ也命婦モ笑止ナ耻(ハヅ)シヤ也元ヨリヲ氣ニ入マイト思ニハタシテ後朝ノフミコヌ也末摘ノ心ノ中ニ恥シク思也ケサクルハズノフミ日ガクレテモコヌ也トジヤノカウジヤノト云迄思ズタゞ恥シイ也

(○)後朝ノフミハ三日ナガラヤル也哥人ノフミ也必哥入ニ限ラズ先ハ哥入也フミヤラヌハキニ入ヌノ也行ヌノ也

【八五ウ】

○「夕霧ノソノ文(ブン)ノフミノナカノヲ哥ニハ夕霧ハ末摘ノヲ心マダトケタヲ知ヌ也ジタイ物云ヌヲ人故ニ打トケタト思ヌ也其霧ハレヌ上(ウヘ)イヤナ雨迄フツケル也イブセイハハルイ事也雲マ待テユカント思ドモ晴ヌ也ソノ間イカニ心モトナフ思ハンカト思也コレコヨヒ来(コ)ヌト知ル也人々(ヒトノ)ツラガル也猶ソレトモ御返答ナクテナルマイト進也イトゞ恥シイウヘニムサクルハヅノフミコヌ故エカタノソノ形(カタチ)バカリノ事モエセヌ也夜ト云中ニハヨフケテハ如何ト件ノ小侍従ヲシヘテ哥ヨミ進ゼル也

○「晴ヌ夜ノ空(ソラ)ノクモリテタル時分ニ月待里ヲ思ヒヤレ此方ノソコ元思様ニソチカラ思テアルマイ也此方ハ思テアル也クチノニヨツテカハツテコノ哥書テヤレト云也紫ノセメラレテ紫也是ハエン書(ノ)ノ事ナレバ極テウスヤウ一重(ヒトカサネ)也紫染ルハ灰入レアクデ紫トイテソメル事ソウ也年(トシ)ヘタ故ニ灰ヲクレハ灰ノ氣ヌケレバ紫ハゲ白フナル也ブルメイタルハ色シラケタ也御風流ニ

(○)廿ヲ哥同シ心ニハ如何日ハレヌ夜ノ月マツ里ナレバボンボリトシテ思ヲモヒアル也你モモノ思ヒ也ワレト同様ニモノ思ヒナサレズトモ我方ヲ思ヒヤツテクレ也

【八六オ】

ナヒ也モジツヨウナレバ女ノ手ニハ堅(カタイ)也中サダハサタムマヘモ云此(コロ)也ナカ(ナカ)此(コ)也梅カ枝ノ卷ニモ手ハ上代ハ猶カタシナカ比ハ猶フルシ近比ニナリ善(ヨク)ナルト源ノ被仰事アル也中比ハ風流ノケツカン源ノ時分(ジブンノ)●幽玄ナ処ヘ至ラヌ手風(テフウ)也中古ノ風也コレラ悪也エン書ハチラシ書也ソレヲカミシモハ男子ノ書様ニ上下(ソロ)ヘ書也客義悪(アシイ)ト思フ上ニ紙悪ク手モ悪也ミル打置也イカニ源コヨヒモヲ出ナサレヌ也ケサ文(フミ)モヤラヌ也源ノナニト思ト笑止也是源ノ例ノ仁心也ユカヌ故カク思也カノルコトヲコソナ事ヲクヤシヒト思ハン源ノ今迄コソナ心ニ叶ヌ処ヘイタ事ナククヤシイ事外ニ逢ヌ故コソナ事ガクヤシイトイフニヤアルナラン也サリトテサレドモ一旦イタ事也セン方ナヒ也容義ハ悪シ心ニ叶ネドモ我ソフアリトモ心長フ面動ミテセハシテヤラント思也御源ノソウシタ仁心アルヲシラヌ故末摘始メ女中方フミハヲソシコヨヒハコヌ故ヲ氣ニ入ラヌソウナトナゲク也ヲト其夜源ノシウト葵上ノ父ゴ也

【八六ウ】

禁裏ノ事定スミ内ヨリマカンドルニ引(ヒ)カレテ行ネバナラヌ故葵上ノ方ヘ行也行幸ノ紅葉賀ノ行幸ノ事ヲケウアルト思ヒ公達集テノ玉ヒテト是隔句也行幸ノ事ヲケフアリト思テ公達集テ行幸ノ事ヲノ玉ヒテ也各ソノ日アルベイマヒノ下ゲイコシテ頭中將杯アソコデハセウ吹爰デハヒチリキ吹テアル

故カシマシイ也カタ／＼面々ニセリ合デカサントケイ古スル也例―内々ノギヨユウトハ違大ヒチリキハ平生ハ常ノヒチリキナレドモソシナ時ハ大ヒチリキ也トテケタノ長イ大ヒチリキアツタ也サクハ八今日ノ尺八ニハ非ズ七穴ノ笛ヨコ笛也七尺八寸ニ切也大也是ハ或説ニ文選ニアル洞簫(トウセウ)ト云也古文ノ赤壁ノ賊ニアル客ニ洞セウヲ吹アリト云洞セウ也ト云ソシナ事カ知ヌ也タイコヲサヘ―ハ琴瑟堂ニアリセウコ庭ニアリトテ琴(コト)ハ堂上ノカグタイコ打(ウツ)者ハ堂下デ打ガク也是ハカクベツ也タイコモ打為カウランヘ引ヨセ也サヘハソウセヌハヅナルニ也オハサウズハヲハス也詞ノベテ云也御―カノ末摘モ

(○私考曰大ヒチリキ昔ハアリテ今ハ絶タリサクハモ古ヘハ楽器ナリケルヤ尺八律書樂図云尺八為短笛ト縦ニ向吹也)

【八七オ】

行幸ノ事ニ付源モイトマナヒ也親切ニ源ノイキタイト思召処ヘハヒマヌスミ行也ヌスマハレ玉ヘハ盗(ヌスム)也字ヲノベル也カノ―末摘ノ方ヘハイト―ゴザラズ秋モクレタ也猶―アチハ頼ニシテカヒナクテ秋モクレ行也行幸―ソコデ行幸ハ十月也ソレガ近ナツタ也シガクハソノ行幸ノ時分ニ行ル樂ノソシナラシナリジハコ、ロムル也ヲシナラシヲ云也其時分ニ命婦參内シテキン中デ源ニヲメニカ、ル也イカニゾ―末摘ドウシテアルト尋也笑止ナイトシイ事トハ源ノ思也ヲ出ナサレヌ故アチハサビシイ怨アルト云也命婦云様ハイトカクノ如ニコノ様ニモテハナレタ様ニヲ出モナサレヌハミ玉ル―ソバカラミル私ニサヘ心苦クキノ毒也命婦モナク様ニ思也心ニク、―命婦ガ心ニハ源ニ心ニクウ末摘ヨイ様ニ咄シテソレデスマサルト思事ヲクタイケル―其アチニヨウス宜ツクラウヲクサラシテノケル様ニスル也ソウスレバゴザレバヨイ

ニゴザラヌ散(ハ)スレバクタイタカヘナヒ也此人ノ―サゾ命婦モキノドクニ思ハンワレヲ怨ミント思召也サウシミ―

(○クダシテハ腐ノ字ヨイ也クサラス心也心ニクタススミゾメノソデトアル也又下(クダ)スト云説アルソレハミサゲル也)

【八七ウ】

源ノヲ心デ末摘モノモ云ズ其心ノ中(ウ)ニ思ヒウモレ怨ヲラント思也ソレ思ヒヤルモキノ毒也此行幸前故イソガシイ故行又無理ナ事云ナト云様也モノ思ヒ―是ハウク也末摘ノ様ニモノ思ヒシラン様ニ此方カラフミヤリイテモノ云ヌソノ心ガモノシラン様ニ見エルコラサント―命婦ヘノゴアイサツ也ウソ也命婦ガ心ニワカウ―命婦モ源ヲ見ルニ源ノウルハシイヲ姿也命婦人源ノレンボデヲ遣(ツカイ)ナサルデハナケレドモ打ミレバサテ／＼ウルハシイ也ヨバイハ人ニ心カケル也恋地ノ事ヲヨバイト云ムソウ人(ハ)ハヨニヨバイスト玉カヅラノ卷ニアル年ヲヘテヨバイワタルト伊勢ニアル人ニ心カケル事云ドモコレハソウデナイ也ヲ年十七也ビ男也宮也ヲ心マカセニシテ行トムナヒ処ヘハ行ン様ナ故怨ラル、也思ヒ―人ノドウ思ウカウ思ト云思ヒヤリナヒ也コノ―此行幸ノイソギスギテハ折々ゴザル也

廿二丁ヲ五月廿一日

△カノ紫ノユカリ―

【八八オ】

此前ニモアルサク院行幸(ハ)也此次ニ出紅葉ノ賀ノバヘ當ル也ソノジ節スギテ也ソノイソギハソレニカレコレトヲシツライアル急スグルトカノマヘ紫ノ卷ノ紫ヲヲノシノ処ヘツレクルハ霜月也行幸ハ十月也其後紫迎ヘラレ霜

月後ハ外ヘゴザラヌ也六条―六条ノ御息処也是ヘモシカノトハゴザラン故
 アチニハ恨アルソレデモ末摘ヨリハヒタトゴザル故六条ワタリニダニ也カレ
 マサルデサイノゴザラント見ユ弥カレマサル也六条ヘサヘカレマサレバ況
 ヲ心ニツカン末摘ヘハ猶コザラヌ也哀ニ思ハヌニ非ズ物ウキゾ―六条ハ行ガ
 ウイ也処セキ―末摘ノ性合モノハチシテ返事セズロクニヨウスミセヌ也悪ソ
 ウナト思ドモ得ト源ミヌ也ソレヲ見アラハサント思フ心(コ、ロ)コト更ニ
 ナヒ也悪カラント思テアル故又打カヘシテニタビ見バ又ミマサリシテ前ワル
 カラント思ニヨカラシヤ知ヌ也手―タドノシイハウサンナキミ也迷(マヨ
 フ)ヲタドルト云ソレ略シテタドノシキ也鼻ナドニヲサハル様也シカト
 知ヌ也夜分ノ事故怪フ合点ユカヌト思事アルマイニ非

【八八ウ】

得ト見タイ也ガナハ願(ネガイ)也ハツキリト見タケレドモケザヤカニケ
 ザノシウハツキリトスル也トランモキノ毒也笑止也打トケ―物静ニシテヲ
 ノシノ心モ静也アチニネヌ故ヨヒキ也元ヨリアレタ処故人トガメル者ナクソ
 ロリト門ヘ入也ハザマハ間ノ字ヲハザマト訓ズアイダ也格子ノ間ヨリノゾケ
 トモ末摘端(ハシ)近ニヲラン様ナヒ也ヲノゾキナサレテモソフアレド也凡
 帳杯ヒタチノ宮ノ時ノ其俣(マ、)アリ毀シテ作ラン故ニモノカラハモノナ
 ガラ也ソコナハレナガラ也年―ヒタチノ宮ノ時分カラ立ヲクバ処也ソトカラ
 見エン様ニ立ル故立処残リアル也下デ処ヲ略スルヲシヤリ―ヲシヤル様ニ悪
 ウハナツテヲラン也心―オク見ヌ也心モトナフオクガ見(ミヘ)◇(スカ)
 又也コタチ―女中方四五人ソコニナル也ミダイハヨシノルイ腕ス
 ヘル臺(ダイ)也ゼン也ヒソクハ茶碗也ヒハヒミツノ秘也ソクハ色也ヒトイ
 ロト也抄ニ見ヘタ通今日ノ青磁(セイジ)也堂上方ハ今モソレ也汁モ菜(サ
 イ)モ飯(メシ)モ茶碗也是ハ呉越ト云越ノ国ヨリクル大事ニシタ事也今デ

モアチヨリ

○廿二ウミヅカラト人ノコト云外ニモアルヤ曰外ニモアル也コチヨリ人ノ
 事ヲ我レハト云処モアル也コレト同文法也

【八九オ】

クルハ青磁ノ類大事ニスル古ハレキノ皆マイル様ニ大分クル也是ハ毒解
 (ケス消)者ト也ヒソクハアマレ大切ニシテ平生遣ズ秘スル色也何分モロコ
 シノ者也左様ナケツカウナ道具ナレドモ出バヘセヌ也罷出テ―彼ミダイヒ
 ソクハ末摘ノマイルニ脂取テクルガソコニアル上(カミ)スム故人々夜食ク
 ウテイ也スミノ―ソレクフテヲル者妄ガハシイ也隅(スミ)ノセマイ処貧家
 ノテイ著也ヒンカ也古ハ宜ケレドモ困窮ニ及故衣(キヌ)モ里ナル迄エシカ
 ヘテヤラヌ也イヒシラス―ハ云様シラヌ程ニ也シビラハモカラキヌト云裳
 (モ)ノ事ヲ云也内裏雛(ビナ)ニアル後(ウシロ)ニアルウスイ春者アル
 シビラトモ云也貴人ノ前ヘ取ハアレカケルモハ貴人ノ前ヘ出ハ武家デハカイ
 ドリデモシテ出ルト云程ノ儀式ニスル二重ニシビラキル也カタクナレハグハ
 ン愚ノ愚也無調法也思召ナンデナニモカモアシイ也サスガニ―是モ貴人ノ給
 仕ニ出バ櫛サスガ礼也貧家ナレドモサス◇(ガ)也ラン―モ行儀(キヤウギ)
 ニナヒ也内―ウタ寮ノ下司サ也

○廿二ウクサハヒ如何曰出バヘモミヘント云様ナ者也クサハタネト云キミ
 也クサノシユノキミ也ハ、キミノ卷ニサルクサハヒマゼヌ人ハ
 ト云事アル弁付ニクヒ者也

○私考曰内教坊ハ女ニ樂ヲナラハスル処也内ノ字ヲヨマサルカ習ナリ歌
 ノ師歌ノ女歌ノ人以下アリ大中納言ノ中其ノ道ニ堪(タヘ)タル人ヲ別當ニ補

スルト也云々

【八九ウ】

哥寮ノ中ニ内教坊ト云アル女ノ老人ヲル女ニ舞楽教ル処也ナイケウ坊へ入ハ年来ノ哥楽ニ長ズル者トモノ老人ヲキ若イ女中ニ教ル唐(カラ)ニモアル唐(トウ)ノヨニアル女中ニ楽教タ也内侍処ハ温明(ランメイ)殿()トテシシン殿ノ前ニアル天照大神ノ御(ミ)鏡置天子朝夕拜スル也若イ女中ヲカズ老女ノ内侍ヲク也内侍ノモチ故ニ内侍所ト云平生貴人ノ前へ老女出事ナヒ也内教坊内侍処デミル程外ナヒ也ハヤハ助字也ハ実ニヲカシイ也カケテモ一コトノハニカケテモ心ニカケテモソナ者貴人ノ前ニ行来スルト知ヌ也アハレ一件ノ老女故サモハサテモ也命長ケレバ一也年能ヨル故カウシタウキメニアウ也是ハ必ナクニ非スタン息スルヲカウ書也タゞクヤミナゲク也故宮一父ヒタチノ宮御在世ノ時ナゼフジ由ナト思タゾ今ハ此時ヨリマサルヒタチノ宮ゴコンキフナレドモ今ヨリマサル也ウシトミシヨゾ今ハコヒシキ也カラシハ辛苦ノ辛ノ◇(ジ)也カクドコカラ合力(コウリヨク)ウケルト云事ナクテモスグルモノ也ヒタチノ宮時ハナゼ

(○内侍所ハ老女ヲル処也内侍ニ限ズ老女ヲク也内侍ハ内侍ノカミスケゼウサクハノ様ナ者モアル也四分アル也合シテ九人アル也此内侍ノアヅカリ也唯内侍ト云バ内侍ノゼウ也カミ一人也今ハナシスケ四人セウ四人ノミ也)
(○私考曰内侍所ハ垂仁天皇ノ御宇ニ別殿タリ温明殿ニアリ賢所トイフ是ナリ日本紀略ニハ威所トシルシ野府記ニハ恐所中右記ニハ奥所又尊所ト見エタリイツレモカシコノ訓ニテ畏敬ノ意也云々)

【九〇オ】

辛ト思タゾ也トヒ一是ハ万葉ノ古イ哥也ヒンキウノ事ヨム哥也抄引テアル也コレヒンカ故ソノ哥取出シテソノ詞書也サムサニフルウ也サマ／＼一人ワルイハ人目悪也腋カラキク二人目悪イモキノ毒也ヲノゾキナサル格子ノハザマ立ノキ惟今クル様ニシタ也打一カウシコト／＼音ヅレル也ソゞヤハソリヤ也或スハヤトモ云也或アハヤトモ遣皆同事也ソリヤト云キミ也新古今ニイツレカト荻ノハムケノカタヨリニソゞヤ秋風ケウ吹ヌ也是ト同事也ソレト同シ詞也スハヤソハヤアハヤ皆同事也トモシビノ置処カヘ格子アゲテ入レル也侍従一ハ前ニ末摘カハリニ源へ返哥ヨミ進ル女中也サイ院へケン帯シテ御奉公シテコヨヒハルス也イヨ／＼侍従イテサへ也功者モノ、侍従ヲラヌ故限(カギリ)ハバツカリ也ツイニ見ヌ様ナ事ト源思召也イト、一前ニ◇(廿三丁ヲ)アハレサモサムキ年哉ト云ソノ詞也ウレヘケル老女(ハゞ)ドモアハレサムイト云タ事也コノイトゞモ下(シモ)へ付聞テヨイ也イトゞカキタレテ雪フル也御前ノ

(○廿三ウソ、ヤ新古今ノ哥抄違如何曰新古今ノ秋ノブニ出風吹故西カラ吹ハ東ヘカタヨラネハナラヌ也秋風ハ西風也抄ノハ違也荻ノハヨムノニ古枯ハナヒ也木枯ハ十月カラ木枯也此時ハ荻ハカレル也書ゾコナヒ也此(コ)ンナ事多事也)

(○私考曰齊院ハ賀茂ノ齊王(イツキノミコ)ノ入セ玉フ処也其始ハ嗟哦天皇弘仁九年五月皇女有智子内親王ヲ立玉ヘリ云々葵ノ卷ニ記ス)

【九〇ウ】

灯次ノ間ノ灯キヘレドモ誰トボシ付者ナヒ也コノウレウトヲ、トナフヲ消ニケリトニナガラ先デ入ル事アル也タレトボスト云働ク者ナヒ也アレ一カノカ

ハラノ院ヘ夕顔同道シテラン靈出也モノハラン靈也ソノ心チスルアレタハ六
 条ノ院ニモヲトラズ此モアレテアルヲトラズアルメル也程ノコハサビシ
 サハアチニ劣ネドモアチハ大ヤ敷也是ハ大家ナレドモ段々コボチトルコトニ
 アチニハ人ナシコ、ニハ年ヨリ杯四五人アル也スコウソレトモスゴイ也ア
 レタ処故也イザトキ今デ早フ目アクヲヨザトイト云也ネラレヌ也オカシウ
 一バ処ガラハサミシイ故面白モ却テフビンニモ思フ也セ間ノハンクハトハヨ
 ウスカハリヒトシヲ源フ思召ベケレドモ末摘ノテイモノモ云ズシテヲルスク
 ヨカハスントシテツイセウモ取ツクロフ事ナヒ也ツヤナヒ事也ナレノハ
 ヘタ事ナヒ也カラウシテ元ヨリ冬ハ長イ夜ナレドモ面白処ナレバ長イトモ
 思ネドモヲ心ニソマヌ処故ヤウトシテ夜明タ也カウシ自身ニアケル也
 老女ドモヨイマトヒシテネル

（○廿四ヲハハ如何曰ナンノ出バヘモセヌランモリトシタ処也ハハカハ、
 ヤクキミ也）

【九一オ】

故自身アケル也前ノ一タレ通フアトモミヘヌ雲フリツミアル也ハルノヤ
 シキ大ヤ敷故ハルト也アリ出テトハワザトツトヲ帰也雪ノエンデ云也
 源ノ末摘ニ被仰ハ面白雲ノケ色ヲミヨ也尽セヌ一前々カラ更ラヌモノモ云ヌ
 トカク心ニ隔アル也マダマダ得ト夜明ヌ也雪ノ白イ光ニ源ノゴヨウタイ也
 シレタ事ナレドモ源ノ物語故コカシコニホメル老女トモエミサカエハ榮
 花ノエイ也ウレシガル也老女トモアノ様ニ被仰程ニ早ク出御一処ニ雪モミヨ
 也アヂキソレデハキノドク也心一女ハ心一ハモノ和ナ事也ナントハ心ウツ
 クシキコソ女ハヨケン杯也サスガニ一モノナトハ云ギライナレドモサスガニ
 也前モアル（十五丁ウ）サスカニ人ノイフコトハツヨウモイナヒ又御心ニ

テト命婦ガ源ノヲ出（ジヤ）程ニヲアイナサレト云処ニアル心ヨハイ生付
 也エイナビハイナミ也トカウトシタリカクシタリシテ出也ミヌヤウニテ
 源ノ末摘ノ方ハミズトハソト也雪ノ方ミル也シリ目シリメデ

【九一ウ】

ミル若見マサリモセンカト思也イカニゾハドウゾアノ様ニ打トケ出ニヨリモ
 シモ也ハ草子ノ地也アナカチナルキツイヲ志ジヤ也先一是カラ末摘ノヨ
 ウス云也セ高（タカイ）也キダケハスハルタケ也ヲセ長ハヲノ字ニ心ナフシ
 テ惟セガ長ギ也スハルセナカ長フ見ル也一説ハヲゼナガトヨム折（ヲレ）タ
 セナカ也ヲレゼナカ也両説也ソリヤコソ思タ様ニ悪カツタハ也ソレニ打ツマ
 一（イ）テセナカノ折タ様ニ長ニ打ツマキサテノ宜ナヒト見エルハ鼻也鼻
 ガ悪イハナ也フゲン一普（フ）賢（）ハ象ニ乗テアル鼻高（タカイ）故ニ
 象ノ様ナト云事也アサマシフハキノ毒ニメツソウ也ノビラカハ長イキミ也
 サキガウツブイテアル也タリハタレテ也其上サキ赤イ也ジヤクロ鼻ノ様也ウ
 タテキノドク也色ハ雪モハヅカシイ様ニ白也サニ心ナヒ也サアヲニ也アヲニ
 見エル也サノ字ハサ衣サハタル雁ノサムシロノサヲ廉ノ心也小舟ヲサヲ舟
 ト云万葉ニ赤ヌルヲサニヌリノ舟トモヨム神代卷ニキブキノサキリト云様也
 心ナヒ也ヒタイ一晴タル

（○ヲセ長（））ハナガ即長也ヲセナカ（一一一一）ハナガ即中也セ
 ナカ也）

（○ヲゼカ折ニ通ヤ如何曰ヲゼナカハ折ゼナカ也ヲセ長（））ハ長イ
 事也）

【九二才】

ハ目ト額(ヒタイ)トノ間長也腫タルハ出ビタイ也ドチラモアシイ也両説也猶□目カラウヘ長ニ猶下モ長也メツソウ長イ顔也又ヤセタ処ハ笑止ゲニ貝ナド自(ヲ)海ニ久フアリ白フニナリアルヲサレタト云ソノ様ニウルヲイナヒ也老人ハヲヒサラバウトモ云也肩ノ上ハアマレヤセ骨立テアル故キルモノモイタソウ也ナニ、ナゼニノコリモナフ此様ニミルゾ也ミネバヨイニ也モノカラハモノナガラ也メヅラシ―アマレ珍サニヲカシサニサスガニミラ、ル也頭ツキ―頭ツキニ心ナヒ也髪ガ唯ウツクシイ也カ、リバハハ見(ミ)バガヨイト云バ也カミノカ、リノミバヨイ也バハ助字也カ、リハ(ワ)トスム説モアルソレモ據アル也古今ニ「ミズグキノヲヤノヤカタニイモトアレトネテノアサケノシモノフリワモト云也助字ニナル也藤壺ノ葵上ノ杯ノ人々ニモ髪ハ中々ヲトラヌ也ウチキハ晴キ也ウヘニキル長也ソレニアマリ一尺モアル也コト外長イカミ也キ玉ヘル―是カラキルイノ事云也キルイノ事迄ハルウ云立ハモノ云サガナイハ

〔○廿五ヲ成ベシトハ源ノ思ヤ作者ノ云ヤ曰ソウシノ地ニ長デアラウトスイリヤウニ云也〕

〔○古今ノ哥フリハモフリバモ両説ナリ此ハバ也コレモカ、リハシモト云ハ助字ニナル也是モ両説也ドチデモヨイ也〕

【九二ウ】

ルクチト云ベケレドモ昔―昔物語書テアルモ先人ノセウ束ノ事第一ニ云テアルソレニナライ今モ云ト云コト也ユルシ―ハキヌ也ユルシ色ニ両説アル禁(キン)―色(ジキ)トテ紫ノ濃紅(コキクレナヒ)ハ堂上デモ許シ蒙ネバキル事ナラヌ也其下(シタ)ニ紅*梅デ云バウスグレナイソレハ許シデキル

也ユルシ色ハコキ紅ユルサレテキル故ユルシ色ト云又ウスグレナイハ御免デタレモキル故ユルシ色ト云両説也是人々ノハツトデナヒユルシ色ノウスグレナイ也ワリナフ―ハベニハゲタ也ヒト―ハニツ重ネル也ナゴリナフ―其上(ウヘ)ニキテアル是ウハギ也ナゴリナウクロキト云デ色ヱ(ハ)紫也ソウタイ色メ云ズウハジラミノ黒ミノト云ハ色メ云ネバ紅(ベニ)ガ紫ヨリ外ナヒ也此名残ナフ黒ト云ハ紫也紅ハハゲテ悪(アシイ)ニ非ズ黒ト云バ紫也ソノ上ニフルキノ皮衣ハアチデ云ハ皮衣(カワゴロモ)也上代ハレキ、著(キル)也フルキハ大切ナ者也テンノ皮ヌイ合タ外(ソト)ヘ毛ヲナシテキル也女中ハキヌ也老女ハキルカ也求メニクヒ者故ニキル也未摘キマイ也カウバキハ是事也

〔○廿五ウクロキヲ抄ニ紫トアリ打キモ紫敷又クロキトハ如何曰タゞ色云ズコウ云ハ紫敷紅敷也ケレドモクロキト云ハ紫ノコト也打キハ紫色ニハ限ラス此黒キハ古サニ黒ナツタルナリ紫古クナレバクロム者也是未摘ヲズイ分ハルウ云ノ也〕

〔○私考曰ユルシ色トハ紅ニテモ紫ニテモウスキ色ヲ云各コキ方ヘヨリタルハ禁色也今爰ニユルシ色ノウハシラミタルトアルハフルヱ(メ)キタル紫ノ衣ト聞エシ御幸ノ巻ニムラサキノシラキリミユルトアルニ同シカルヘキ旧記ニ紅色ノウスキコトナリトイヘリ但紅色ノウスク古キハ必黄バムモノナリ宝物集「紅ノ恋ノ泪ノイカナレバハテハクチハトナルソカナシキ見エタリ〕

【九三才】

句フニ非ズカウバシキハ色ノ事云也コ代ノ―フルキノカハギヌハ古代ノ者故故(ユヘ)ノシイ也猶―ト云ハ宜ナレドモ猶若(ワカ)イ女ノヨソヲイニハ似タケモナヒ似ツコラシウナヒ也ヲソヱ(ロ)シイ也イト―モテハヤスハ

賞玩（セウクハン）也末摘ノ一タイヤセタクセ長ニ相応シタ様也サレト一ヲ
 トロ／＼シイセウ東ナレドモゲニキルガ尤也ゲニ此皮衣ナクテ是キズハ弥寒
 カラン寒イ時ハ鼻ノサキ赤ナル也心源ノ仁心也ナニコトモ一モノガ云レヌ
 也アマレ笑止也ジ、マニモノ云ヌ人也ソレニ對シテワレモ口開心チスル也
 レイノ一彼モノ云ヌヲ人若ハ云カト也トヤカウ云ニト角恥テ袖ヲ以口ヲカク
 スソレサヘ田舎（イナカ）メク也コト／＼シク一儀式官ハ太政官ト云此元
 ノ大會也大政大臣宰相少納言大納言小弁中弁内記杯ツメル也節會（セチエ）
 アレバ右大弁内記杯モノ書役ノ衆也是ラ節會ノ時ハネル事アル也子細ラシウ
 ネル事アルコヨヒ末摘卷処小納言ヤ弁官ネル様也行義（ケウギ）正シテアル
 処却女中ニ似合ヌ也ソレナリニ末摘笑也◇（ハシタナフハ）一切不相応也ス
 ゞロハ

（○廿六ウ儀式官ト名付心如何曰ギシキニ字トモノリトヨム多ギツトシタコ
 ト也太政官へ出ル人々（ゝ）へカ、ル也束帯スレバヒヂヲハラネバナラズ衣
 冠デモ張ネハナラヌ也上ニ大臣出ル故カルイ者ハ束帯セネハ出ラレヌ也コ、
 ニ上下キテ出ル様ナリ）

【九三ウ】

モ不*意也思ヒヨラヌ一タイ也不意ト書字也イト一笑止也アマレキノドクサ
 ニ弥急（イソイ）デ出也是ハ此（コ、）デハ未出ズ源氏ノ例デ出ルト書（カ
 キ）アトデ残ル事書（カク）是モソレ也頼一源ノ末摘へ被仰ハ今デハ外ニコ
 ナタ頼ム人ナヒ也私力様ニ見ソメタ人ニハ親フナサレ手前へノ者意ニ叶也ユ
 ルシーヲ心ユルミナフニト角恥カシソウニモノモ被仰ヌ也ツラウナレドコレ
 故罷帰トソレヲシヲニシテ帰ガコトツケテ也

○「朝日サス一源ノヲ哥也ノキノタルイハツラ、軒カラサガリアル者也朝日

サス故ツラ、トケル也皆トケズ日ノアタル処ウスクヲチル也上（ウへ）ニタ
 ルヒトアル下（シモ）ニツラ、トアル聞エヌ様也上（ウへ）ノタタヒガトケ
 レドモ凝（コツ）テツラ、ガアルト云事也面ハソレ内セウハ末摘ガ源ノ心
 ニ従ドモソコノ心ガトケヌト云比論也タクヒハ垂（タレタ）氷（ヒ）也ツラ
 、ト云者先最初氷ル処上へカラコボレル露ガ寒氣強ク氷ルソノ上へハ氷リ／
 漸々フトウナル也連（ツラ）ナリ／＼ルキミ也ツラ／＼ト云キ

（○私考曰ナコリナフクロキトハ何色ノフルヒテクロクナリタルトモミエワ
 カヌヲ名残ナウトイヘリウチキノコトハウツセミノ卷ニ記セリ）

（○同ウハキハ打衣ノ上小褂（ウチキ）ノ下ニキルモノ也フルキノカハキ
 ヌトハ黒貂（フルキ）ノ皮衣（カハコロモ）ナリ云々）

（○同キシキ官トハ公事行ハル、時辯少納言内記外記史ナトノ威儀ミタサジ
 トコト／＼シウネリアユムサママイフト見エタリ）

【九四オ】

ミ也一字略シテツラ、ト云也ツラ、ト云ハイクツモツラ、／＼也ヒタ者フト
 ウナルキミ也上へカラ落ズ川ニアルモツラ、ト云池水ノツラ、ト云也是モツ
 ラ、也最初氷ルニ波打カケ／＼池チカ迄段々氷ル也水鳥ノツラ、ノ床ト云也
 此哥ノツラ、ハタルヒノ事也ニドクリ返シテ云也ム、ハ笑^ツ声也イト一返哥
 杯出来ソウナ事デナヒ也出一此実ニ出也ヲ車ヨスル中門也是ハ中門ヨリ内ノ
 事也中門ハ二重ニ門アルソトノ大門ノ中也ミダレコホレテアル也ヨメニコソ
 一夜目ニコソアレタト著ミヘテモカクレテ行也昼後トミレバアラハ也外ハサ
 ビシウモノ哀ナレドモ松ノ雪ハ温ゲニ富貴ニ見エル也松ニ雪フリカ、レバ綿
 （ワタ）ムシリカケタ様ニ温ニ見エルソレヨイ也是ニ説アル古イ説ニ新雪ツ
 モツテ松ノ色暖也是ヨイ也温ゲニ見エル也一説ハ雪深ツモツテ湯ノ色アリト

云説アル松ハ陽氣絶故雪積ルガ湯氣(ユゲ)ノ云様也是デ云ト雖ソレヨリ前ノヨイ也カノ一アマ夜ノモノ語(ガタリ)ニアバレ~~ル~~ル(タル)ムゲラノ

(○水鳥ノツラ、ノ床ト云哥アル也コレ池ノ水ヲツラ、トヨム也氷モヨコヘツラナル心也源氏ノ哥カニ神ガキノヨルベノ水モツラ、イテ上ヘヨリ落ハタルヒ也波ノ打ヨセル者氷ルニアトヨリユク者又氷ルイテハツラナク、スル也ツラ、ハツラナル心也)

(○松雪ニ説トモニ古註トアリフルキ詞ト見ユ)

【九四ウ】

門(カド)ニ思フ人ノコモルヲ見付タラント云アレタ処ニコモルヲミ付ハ面白カラント云ソレヲ今思召出ス也ゲニトハ品定(シナサダメ)ノ時ニ馬ノカミ云ヲトラヘゲニ也我心ニ~~カ~~(カ、)ツテドウモナラヌ者テ此ニ居(スヘ)テ通シ時ハドウゾトキ遣スル女置テミタイ也アルマジキ―藤壺ノ様ナアルマイ事ニヲ心カケルウサハソレデハレルナラント也思―我ヨイ処ト思フスミカ也ソレニ合ヌ末摘ノユキ方也我―取ベイ義ナヒト思トモコレ源ノ例ノ御愁也我◇(サヘ)カウ思フナレバ我ナラヌ人ハ―也我(ワガ)―我(ワガ)

カウ末摘ミソメタハ我ハステンはハ末摘ノ父ミコヲ女メゴノ事故死ナレテモ心モトナヒト思ヒタグヘハ魂(タマシヒ)ヲ末摘ノソバヘタグヘヲクヒタチノ宮ノ魂ガシルベシテ我ヲ此ヘ引ツケタソウ也橘―雪ニウツモル橘ハ指処泛(ヒロイ)也橙(ダイ)柚(ユ)久年母皆タチバナ也雪ハラハス也ウラヤミータチ花ノ雪払セバソレウラム様デ松ノ木モ雪ヲバ己ガハネカヘシテオキ上ル也ザトハサツト也ナニタツ―是ハ古イ哥ニ末ノ松山波コサジトハトヨム波山ヲコヘル

【九五オ】

トヨム松ノ上ヘヨリ雪ヲツルガソウ見エルト也イト―哥ノ返(カヘ)シ杯ハフカウシラズトモヨイカゲニ源アイシラウ人置テミタイ也ミ車―クバリハ明アレドモ車ハ出ヌ也車ハ中門ニアル大門明ヌ也カギアヅカリヨシデ来タ也前ノ―老人ノキツウ也女メニヤ―老人キタ也ソレニ引ツミイテ女カ孫カ知レヌハシタハドチラヘモカタツカン也大キサデセイ大キウテモ女トモ孫トモ見え孫ニシテハスギル也アヤシキ―ナニヤラ知レヌ火桶袖(シウ)炉様ノ者ニ也袖―袖ニク、ミ也袖ニ入レ持也老人故ヨツテ助レドモエ明ヌ也ブ調法ニ見エル也御―源ノ御家来ヨツテ明タ也

○「ヲリニケル―源ノ老人見アノ方ノモノ哀ミ手前モ袖ヌラス也アノ方ハ雪ニヌラス也朝ノ―ハ◇(抄ニ引)サ、分シ朝ノ袖ト云アサ也若―今ノ女メ也モノキイデモ寒ゲニ見エヌ也ソレトモ寒氣ナレバ鼻ノ先赤也女ノ鼻ノ先ガ赤ヲ見テ末摘ノ事思召也此ニ若キ者ハ形カクズト云

(○ス、ケマドヒハ下地ス、ケタルガ雪ニアヒテ白者カ、ル故ニ猶ス、ケテミエル也ス、ケルハモトノ訓ハ如何曰ス、也)

【九五ウ】

ハナノ色ニ出テト云ニ白氏文集ノ文ソコニ持テ書也抄ニ引也秦中吟ニ夜、深(ヨフケ)煙火尽ガ先程ノ◇(廿三丁ウ)オホトナブラ消ニケルヲトモシツクル人モナシニ當(アタル)也霰雪白シテ紋~~々々~~(タリ)ト霰雪ハミゾレ也◇(廿三丁ウ)イト、ウレウナリツル雪カキタレイミジウフリケルト灯(トモシビ)ト一処ニアルソノニヲ此シン中吟ヲ心ニ持テ書也コ、ニソレ承若キ者ハ―モ其詩也ズ~~ン~~ジハ誦(シユ)スル也コレヲ吟ズル也先ノ灯ビ消ルト雪フルト此若キ者ハト也ハナノ色ニ出テモ其末ニ悲~~々~~端与ニ寒氣併入ニ

鼻中辛ト云ソノ鼻ノ中ニ入テ辛ト云文思召出シテ末摘ノ事思出故ニホ、エマレ玉フ也 廿八丁ヲ 五月廿六日會

△頭中将―

是ハ源ノ末摘ノモトヘ行得ト見ルニ鼻大ニ長ク赤クセナカハヲゼナガ也家(ケ)内ハ貧乏(ビンボウ)也ヲル者ハ老人也門番ハ門ヲエ明ヌト云様也イツモノ中ヨシノ頭中将ニコレヲ見セバドウ云ハンドノ様ナ事ナゾヘ云チハジシメン也イツモ源ノ

【九六オ】

ゴザリ処何也今ハタツタ今ミ付ラレスベナフハセン方ナウ也俗ニ云スベモシラデスルスベモシランノスベナフ也スルベイ様ナヒ也シ様ナヒ也ヨノ常―末摘ノヨウスセ間テイデ鼻モ鳶(トビ)鼻デナクセ間テイノチト見(ミ)トムナヒナレバ我イカナレバ思ノ外ニ拾(ヒロイ)テモアル者也サダカニ―定カニハツキリト得トミレバ却テ笑止ニイタハシイ也マメヤカ―実ニヲ尋也フルキ―前ニフルキノ皮ギヌヲキルニ對シタ也モ俳諧ノ様ニ興(ケウ)ジテ書タ者也元ヨリフルキノ皮ヤルベキニ非ズコレ末摘ノ料(リヤウ)也又召遣ノ人ニモ遣スカノ―門アケニ出カヨハイ寒ソウナル老門番ノヲヤジ也上下トモニユキ屈様ニヤル也ソレヲ一ニクルメ末摘ノ方ヘ贈也カ様ナ内セウノ合*力(コウリヨク)ノ事デモ恥シウ思ヌ也宮ノ子ナレバ恥カシカルベケレドモ貴人ハソフナヒ也ナントモ思ヌ也チトヌルイ人也ソレガドウシテヤルモ心安也サル方ノ―ソウシタセハシテヤルモ也サマコトニハセ間ノ好色事トハヨウス違也サナラヌハソウシテアヤ

【九六ウ】

綿ノ外ニ米錢ノルイモ遣ス也カノ―空蟬ノ卷ニゴヲ打テアルタレ見ルトモ

シラズ打トケテアリシソバメハ腋目ヨリヨコ顔ミル也篝木(ウツセミ)ノ卷ニモ云モテ行ハワロキニヨレル形トアル空蟬モキ量ハアシイ也コレハ發明デ知恵アリ女ラシイ也ダテスルニハ非スヌルウナヒ也中々見苦ハナヒ也ヲトルベキ程ノ―末摘ガ空蟬ニヲトランヤ空蟬ハ中納言ノ女メコレハ宮ノ女故ヲトルベキニ非也シナハ上品下品ノシナニモヨラン空蟬ハ心和ニナヒ也従ヌ也トカク負(マケ)ネバナラン也コレ事(コト)ニ付徒以テ思召出也年モクレヌ―末摘ヘ行ハ年ノ末也雪フル事前ニ云也内ハ源ノキン中デノヘヤ也大輔ノ―ハ件ノ末摘ヘノ中人(ナカウド)也源ノ乳兄弟也御―クシケヅルハスク事也ケサウハ源ノヲ心カケル也ケサウハヲモヒカケルト書ソウシタ筋デナクヲ乳兄弟故心安也ヲ心カケラル、也ニハ非ス若イ大輔ノ命婦大好色故ニタハムレコトモ被仰也ヲ心安故ヲ召デナヒ時モズウ、ト參也源ノソバヘキテナントモノノイエラレン

〈○ホドハ人ノ位ノホトカ曰然リ〉

〈○マケテ抄ニマゲテトアリ曲ニ非ヤ曰ソレモ聞エレドモ豎也風流ニナヒ也負テ也〉

〈○ハライ櫛ト云アリヲクレナデ付ル様也コレハ一トウ品高也命婦ハ五位也天子デ云ハハライ櫛ハ中ロウノ女也四位グライ也源ナドノミヤニハソレハアルマイ也中ロウハ女ノ上ロウ中ロウノ中ロウ也四位クライ也上ロウハ二位グライ也下ロウト云ハ無ナリ是女中ノ格ナリ〉

【九七オ】

合点ユカヌ事アル也申上ンモヒガシタ様ナ事也聞エ―申上ンモ也ナントモナシギ也タゞ少シカタエミテ云ヌ也ナニ―ドウシタ事ゾ源ニ別ニ強テ遠慮シテカクス事アルマイ也私ノ自身ノ用ハ如何ハ包マントノユス也御(ミ) *前

へノコスマイ也私ノ身ニ付ナンデモヲ願ノ筋ハ也先コソハト句ヲ切申上ニコレハコレハドウモ申上ニクイトイタウ詞フクミ云又也例ノ風流メクカトヲナブリ也ソコデヒタチノ宮ヨリヲフミクル先ミ玉へ也マシテ況コレヲカクス道理ナヒガト平生ノ事ト思召也ヲトリナサルヤ否命婦ハムネツライ也ミチノ國ハ今日ノ檀紙(ダンシ)也大鷹(オ、タカ)小鷹(コタカ)ノ類也古道ノクヨリスキ出スヲウ州ヨリスキ出ス中比ハビツチウヨリ出今ハ奉書出ル越前ヨリ出事也句ハイタウタキシメルト云バ外ハ悪イ也イトシツカリトタシカニ書女ノフミハ和二書ハヅニ筆ヲテヅクリト書ヲソシル也哥モトハ哥モ悪イト云事也

(○私考曰ミチノクニカミハ檀紙也ミチノクノマユミノ紙トイヘル是也檀紙ハ奥州ヨリスキ初タリトイヘリ又古歌アルヤウニ見エタリ末考ル処ナシ猶尋ヌベシ)

【九七ウ】

○「カラ衣―」カラ衣キルト承ル也源ノ心浅ク見エレバ袂ハ如此ソホチハヌレル也心エズトハ袂ハカクゾト云カクノ字聞エヌ也扱ハ何ゾヲコスト見エルアチラヌレルヲカクトハ云ヌハズ也減ヘツキ付ル也ドウシタゾ合点ユカント也ヲ文(フミ)上置ヲ次ヘ立テ源ヘ末摘ヨリ進ゼラル正月ノ料ニ進ゼラルカクノ如ク袂ヌレルト源ヘ進ゼラル也古代ノ親ゴノキルイ進ゼラル故古風ナル包(ツ、ミ)ノヲ、イシテカ来タ也衣バコハ今云廣蓋(ヒロブタ)様也ソレニ風呂敷ナド打カケクル也ヨ程重(ヲモイ)也親ノ代ヨリアル故衣管モ風呂敷モ古イ也コレヲ命婦申上杯ハコレヲナゼニヲカシイト思召マイ様ナヒ也ソフハ思召サレトハ思ドモソフハアレドモ元日ノヲ召料トテクル也ソレヲ不相応ニアチヨリクルヲカヘスハフソウ応也ソレ故先持(モチ)クル

也独―私ガ方ニ隠シヲカレモ折角末摘ノ実ニ心ニカケルヲ出サヌハアチノ心無ニスル也人ハ末摘也御―ヲ目ニ懸(カケ)テコソハ私方ヘデモ拝領セントナリ

(○卅ヲツ、ミハ衣管ヲツ、ムノ意カ古代ナルトツ、ク如何曰京デハ風呂敷ヲツ、ミト云也又京デ湯風呂敷ト云風呂ヤニシク也ヘイ生ノヲツ、ミト云ナリ古代ナルハ古風ナル衣バコナリ)

(○衣管今堂上ニアリヤ曰アルナランミズ狭管ハ百年位此方也古ハ板ニハサミタ也スワウハカマヲ狭也ノリコバナナル者故ナリソレヲ管ニシカヘタルナリ)

【九八オ】

引―ソコデ源ノ其方ヘ取ヲクハ迷惑也嘲弄ノ様ニ被仰也カライハ迷惑スル也辛苦ノ辛也袖―人モナキトハ古哥ニ抄ニモアル也「淡雪ハ―ト云ハ淡雪ハ今日ハ降テクレナキル物ニツケバヌレルヲレガ袖ホシテクル者ナヒ程ニ也マキホスハタゞホス事也マイテホス者故也ヲレヲタレ後見(ウシロミ)シテキヌクレル者ナヒニウレシイト被仰テウ弄也源ハ当時ヲキニ入ノ宮也天下無双ノ富(フウ)人に貧人ヨリコンナ事セヌハヅ也コトニアマリデ別シテモノモ云レヌ様ニキノ毒也倭モ―是カラハ源ノ末摘カラ衣ト云哥見サテ、不出来ナ下手(ヘタ)ナ哥也是ガ手ツカラヨム哥ト見エル前ニ侍従ツケ声ニヨム哥ハ末摘ガ哥デナヒト命婦ガ咄聞也ジツニ末摘ヨムデナヒト聞故此タビガ実ノ哥ト云也限リハコレガズイ分ノアチノ力(チカラ)一ハイト思也付声シテジ直スナラン又―其侍従ガ外ニハタレモ添削(テンサク)スル者アルマイ也筆ノシリトルモテンサク也元ハ手習ニ後(ウシロ)筆ノ尻取ヲシヘルヨリ出也ハカセハモノシル人云ナリナンデモ通シタ者◇(ヨリ)也

（○私考曰ツ、ミハ平ツ、ミ也ウハサシツク衣管ハ蒔繪アリ衣管ノツ、ミヤウ雅抄ニクハシク見エタリ延喜式内匠寮式ニ衣管六合「雁鳥鼻各長一尺五寸五分廣一尺三寸深二寸五分」

【九八ウ】

心ヲサゾ心ヲ尽シテヨムナラント思召故イト―是モ命婦ニ對シテテウ罪也イトモ辱（カタジケナイ）トハ是ナラント云也カシコキハ忝（カタジケナイ）也命婦―キノ毒サニ吾サヘ赤面スル也今ヤウ―彼贈ラレタ処ノキヌ也キヌハ仕立タキルイ也今ヤウ色ノ―トハコキ紅（クレナイ）コキ紫ハ其時分カラ天下ノハツト也許ス人デナケレバナラヌ男女三位以上中納言以上デナケレバ許サヌト式目アル也ウス紅ハ許ス故ユルシ色ト云也今ヤウ色トハ其コキ紅ハユルサヌウス紅ハユルスソノ間（アイダ）也コキ紅ヨリウスクウス紅ヨリコキ也今當世ソメ出シテキル故今ヤウ色也コレニ今ヤウ色ノエユルスマジウハ今ヤウ色ナレドモコキ紅ニ近故ドウモキラレヌ様也ソレトモツヤヌケレバ紅（ベニ）ゾメ故古（フルウ）ナル古代ノ親ゴノ故也ナラシハ上ヘニキル者也繪ニ書公家ノセウ束ノ上ヘニキル者今ハ冬カラ春ハ白夏ト秋ハ花田トテ青色キル古ハ紅梅ノ直衣（ノヲシ）キタト見ユ是ソレ也上ヘハ先（サキ）ノ衣也是カラ直衣

（○私考曰イマヤウ色トハ紅ノウスキユルシ色ライヘリ深色ハ禁制ニテ今此色ホトニハユルトタメシ色ヲ下シ玉ヒタルライフ様―字ハタメシト訓セリ營膳令ノ義何ニ様ハ形制ノ法式也ト見エタリ位エタルスマシタトハ深（コキ）方ニヨリタル成ヘシ「兼按此私考ノ様ノ字ハ今ヤウノ様ノ字ノ釈也此説ニテ明也」

（○私考曰ツヤナウフルメキタルナヲシノウラウヘヒトシウコマヤカナル此ナヲシハ例ノ直衣ニハアラテ上ニイヘル今ヤウ色ノコキカタニヨリタル直衣ニテウラウヘヒトシウコマヤカナルトアレバ紅梅直衣ト聞エタリシカルニ花鳥ノ御説ニハ上ニイヘル今ヤウ色ハキヌ此直衣モ今様立ノウラオモテ同シ色ナルヲイフニヤトテ品ニシルシ玉ヘリ紅梅直衣ノ例引証アリ可考紅梅織物直衣トモ又紅梅浮文ノ直衣トモアリ）

【九九オ】

ノコト也直衣ノウラ表同杯ニ也コマヤカハ紅（ベニ）ノコマヤカ也紅梅也源氏ニコキ色ト云ハ外ニナヒゼヒトモ紫歟紅ノ二色也是ハ紅也是モ裏表トモニ一トウニコイ也イト―ソレモケ高ナヒ也古ビタ者ユヘ平生テイデ是ハケツコウナト云様ニナヒ也ツマ／＼―ヒロフタニノセタムガチヨツトソフ見エル也タ、ミアゲアルハシ／＼見エル也取上ミルニ非ズアサマシフ―笑止ナト思也末摘ヨリクルフミヒロゲアルニ手―テ習ハ源氏ニアルハ皆ナグサミ書也ソバ目ニ命婦ミレバ

○「ナツカシキ―ナツカシキ色―ハ末摘ノ事也ナツカシイ色デナヒニナゼニ此様ナ末摘花袖ニハフレタゾ也末摘ハ鼻ノ先赤故コ、デ初テ末摘花トヒタチノ宮ノ事云也紅（ベニ）ノ花ハアザミノ様ニモト黄ニ先ハ赤也先赤処ツミ取故末摘花也花ノ先ノ赤ハ姫君（キミ）ノ鼻ノ先赤故タトヘテ被仰也ソレヲナシノ因縁デ袖フレタゾクヤシイ也

【九九ウ】

此タバアチヨリクルハ今ヤウ色ノ赤故ソレニヨソヘ云也コンナキルイナゼクレナヒニ染タゾト也是テンガウ書也色コキ花ト―コノ色コキハナモ末摘ハナノ赤ヲ云也是ハ古イ哥アル抄ニモ引アル也「紅ノ色コキ花ト―元ヨリ色コイ

紅(ベニ)ノ花デ染タ也ベニハアクデ洗バソノマヽヲチル人間ニタトヘ云也
源モ末摘ニアイタト云事也カキケカシヲノシノナツカシキト云哥ノ上(ウ
ヘ)ヘ見エヌ様ニ書ケス◇(コト)也ハナノトガメー命婦ヒタト源ノハナノ
コト被仰也ナツカシキ色コキハナト被仰バトウゾ末摘ノ鼻ノ先ニモヤウ
アルラント思也先貴人故几帳ゴシデヨリミス也ナレブヨウスアラント思也折
々ノ月影ニハ夜分テハ遠ガケミルニドウヤラ鼻ノ先アシイ様也末摘イトシイ
笑止ナト思也ソレカラヲカシウナルソコデ命婦云ハ
○「紅ノヒト花衣―クレナイノ一花デソメルハウスイ也ニドトモソメンモ、
色ノ様也ヲキニハ入ルマイ也此一花衣ハ源ノヲ心末摘ヘウスクトモ

【一〇〇オ】

ソレ程悪フ被仰ズバヨカラント也心―扱々思フ様ニナヒ世ジヤトナレテ独ゴ
トシテアル也ヨキニハ―命婦ソレ程ヨイ哥ニハ非ズ紅ノ一花衣―上手ニハ非
ズカウヤウノ―是程ノカイナデハヲシナメテセ間テイノ是程ニヨマバ也人―
源ノ思召ハ人ハヒタチノ宮ノヲ子故レキノ也ソレニヲ名ガ命婦ガ云様ニヲ
名クチテハ也命婦ガヒタスラクタスト云故クチテハ也イヤナレドモサスガ
キノ毒也人々―人々(一)御前ヘ出故命婦ヘ被仰ハソノキル者カクセ也カウ
シタコトチエノアル者スルコトカト打―ハタンソク也ナニ―命婦思ハナゼ
ニコレヲ目ニカケタゾカケナンダラヨカラント也サゾ源ノ心ナヒト思召サレ
ト也恥カシクヤヲ下(ヲ)リヌ也

卅二丁ヲ六月朔日

△又ノ日―(一)カノ末摘ノモトヨリ源ヘ正月ノ科トテ衣進セラル事前ニア
ルソレツライ故命婦ハ引込タ也又ノ日―上(ウヘ)ハテンゼウキン中也命婦
ハ天子ノ官也源ヘモ行末摘ヘモ行也上(ウヘ)ト云ハ其日ハキン中ニアル也

【一〇〇ウ】

大バン処ハ禁中デ女中ノ居(斗)処也直(トノ斗)スル天上人杯ノ物タベル
処也女中ノツドウ処也源ノ命婦ガアル処ノゾク也其子細ハキノウノ末摘ノ返
事ヲ遣ストテ也クハヤハサア是ト云様也ヨビカケソリヤト云様也キノウノ返
答ト云也サアト云也スハヤト云様也発語ノ詞也ヨビカケル花鳥ニハサラバト
云事ト見エ只今モ人ヲヨビカケサラバト云事也アヤシウードウシタ事ゾ心遣
シテイカウリキミ有テキツウヨイ返答シタイト思ト也先ノリツハナ方ヘヤル
返答ハ心遣アルト被仰也必竟ラウ弄也キンリ御奉公ノ女中ガ命婦ヘキノウノ
返答トテ被仰故ヨイ処ヘノ取次ト聞故ニカウ思也ヨノ人ナレバソフナケレド
モ天下無双ノ源故心ニカケウラヤマシガル様也タゞ―風俗(フウゾク)ノ哥
也風俗ノ哥ヲ惟梅ノ花ノ色ノゴト、哥ウ也昔ハムメニ今ノ様ニムト書ズウト
書也ウトムト通故也◇(抄ニ引)ウタイ物ニハ多々良女(タゞラメ)ノ花ノ
如(ゴト)加以称利(カイネリ)好牟夜(コノムヤ)―ト

○卅二ヲ大バン処ニト云ニノ字如何曰ヲト云テモヘト云テモ同コト也ヲト
同事也

○タ、梅ノ花ノ意ノコト三笠ノ山ノヲトメヲハ捨テトウタヒスサヒテ出玉
也又求子トイヘルウタヒモノ也春日ノ社ニテハ三笠ノ山トウタフ餘社ニテ
ハ名其処ヲウタフト河海ニ見エタリ此ウタヒ初ハ末摘ニヨセテウタヒ玉ヘリ
下ノカイネリノ事モ亦オナシ

○又カイネリ好ナル花ノ立アヒ カイネリハ火ノ色ノ類也又一説ニハ一物
二名ノヤウニ見エタリ爰ニイヘル本文ハ衛門府ノ風流ノ哥也云々

【一〇一オ】

云ヲ源ノスコシ更(カヘ)テ惟梅ノ花―ト少シカヘシツカリト被仰也風俗ノ

哥イ物ノカイネリハ赤（アカイ）モノ也衣（キヌ）ネリ桃色ノチト赤様也ネルヲ紅（ベニ）ニソメルズンド紅梅ニ非ズ惟ネル物也梅ノ花ソノ様ナ者也カイネリ好カ天性コウバイノ赤キモノ好故コウバイニ咲也源ノコ、ヘ取直シテ梅ノ花ト被仰ハ宮ニ源ノ思召入レノアル哥也末摘モトヘ行アチヨリ衣管来（キ）今返事遣サルコノ此ノヲ心ニハ自（ヲ）末摘アル也イカナレドモ先ヲ心ニアル也三笠ノ山ノ河内ノ白岡（シラヲカ）ヨリクルフツヌシ武（タケ）ミカヅチ天照太神合シテ◇（春日）四社也ヒタチノ鹿島（カシマ）ヨリ武ミカヅチクルシモヲサノカトリヨリ（一）クル春日ノ一社ハヒタチヨリクル四社ニシテ春日大明神也末摘ハヒタチノ宮ノヲ子故コ、デ三笠ノ山トハ武ミカヅチガヒタチノカシマヨリクルヲ云必竟末摘ノ事云也アイネリ好ヤハ鼻ノ先赤ヲ心ニ含云也カイネリコノムハ此梅◇（花）ノ色ノ如（ゴト）ニコメ云也ヲトメヲステ、イヤ

（○此事公事根元春日ノ処ニ委）

（○抄ノカセギトハ鹿事也）

【二〇一ウ】

ジヤゾト云事也猶一命婦ハ心シリノ命婦故源ノヒタトハナノ事被仰ニ心ツク故ニヲカシト思也心一王命婦ノソバニナル外ノ女中方也源ガナンノヲ心アツテ梅ノ花ノ色ト被仰ヤシラヌ也ドウシテ独エミゾヲカシソフニヲ笑ナサルガ也合（アヘ）リハガウノ字也互ニ云アフテ女中方云也トガメテ互ニナル也アラズハドウゾシランガ也ソノ女中ヅレノ詞トモ云ドウアルゾシラント云也一説ハ命婦ガ女中ヘ返答ノ詞ト云コ、ノ文勢ミレバ女中同土トモミエル也又命婦トモトチラヘトモ也非ズト云切也ケサハ寒（サムイ）霜朝也惟梅ノ衣ノ色ノコト、被仰ハカイネリコノムノ詞コモリアル故ドレゾカイネリ（コノム

モノ）此中ニアルナラント也此花ト書ハ悪（アシイ）也鼻也カイネリ好ム赤イ鼻也サムケレバ平生ノ人ノ鼻デモ赤也ケサハ霜アサデサムイ故此中ニ鼻ノ赤イアル故源ノソフ被仰カト命婦カ又女中ガ云也ソレ故カヲ哥ナサルヲカシイ也ツバシリ哥ハ破レタ者俗ニ

【二〇二オ】

ツバリト云破レタ者ツバル也ヲ哥モロヨリヲク迄哥フニ非ズアソココ、取テ哥ウ故ツバシリ哥也箒木デモ云也アナガチナルヨシ鼻ガ赤トモソレ程ニ哥ズトモシイテソレ程ニ被仰コトハナヒニ此中（ウ）ニ鼻ノ赤イ人ハナヒガトカタミニ女中方云アフ也鼻ニ花コメアル紅梅ニ比ユシテ云也左近一コレハ地バン鼻ノ先赤イ人ト見ユコ、ニ左近一見エヌガドコゾソコラニ居リ源ゴランナサルカ也合点ユカヌガドコゾテミルカ也イ、一モ合ノ字ノキミ也互（タガイ）ニイ、アフ事也御一カノクハヤト源ノ命婦ヘ被レ下返事命婦ガ持行末摘ヘ奉也宮ニハ一宮ハヒタチノ宮末摘ノモトニ女中方ツドウハ末摘ノ召遣ノ女中也メデアイスル也源ノ御返答ニ

○「アハヌ夜ヲ一ジタイ本ノ夫婦ナレバ每晚對面スルハズ也逢タカラ逢迄ノ夜カゾヘミレバ其間ニ逢ヌ夜多ク隔アル也隔ツル中ノ衣トハ古哥アル抄ニ引アル」衣タニ一夫婦一処ニネテモ身ニキタ者ハ互ニ

（○私考曰左近ノ命婦ハ中藤ナル女ノ呼名也肥後ノ采女ハハレウネメハ諸国ヨリ貢スル女也垂仁天皇ノ比ヨリアリケルヤ倭姫ノ世紀ナドニモ見エタリ云々）

（○卅三ヲ拾遺ノ哥ダニサヘニアリ同コトニ非ヤ曰昔ノ哥ハコレアル也此哥ヲ取ヨム哥多アリ覺ヲルベキ哥也我ヨムニモヨイ也）

【一〇二ウ】

衣ヲ隔テアルト云事也逢又夜ヲ隔テ又中(ナカ)ノ衣デ隔ル心也夫婦ノ間ニ隔衣ヲ隔ル中ノ衣ト云中(ナカ)カ上ヘ下ヘカ、ル也ヂバンサヘヲ心ノ隔アリタビ、ユカヌニ又重テアチヨリ色赤ヲ贈ル故其上ヘニ又重テヲ心隔テ源ニ見ヨトカミヨトカハ源ヘミヨト云ヲ心カ也ノシモ見源ニモ見ヨトカ兩方隔ル心アルカ也ミモシハ末摘ヘカ、リミヨトヤハ源ヘカ、ル也白キ紙ニ白キ紙デ風流ニナヒ也風流ナレバ赤紙カナゾ色ノ紙ニ書ナリ末摘ノ事故ニリツハニ出来サレゾト思又故ステカイ玉ヘルハヤリ放ニ書也シモハカラアル也ソノ様ニ書シモヨイト云カラアル助字トテステルニ非ズ中(ナカ)々デ見ヨケクナゲヤリニ書ガ却テヨイ也ツゴモリ是ヨリ源ノ方カラ末摘ヘ進ゼラルコレハヲ、ツゴモリノコト也俗ニコモリトハ悪也ツキゴモルナリ上方デハ云ヌコト也コモリトハ云ヌ也阿波ノ方言デコモリト云也カノ御衣ハ先達デ末摘ヨリ源ヘ衣入レ進ゼラレタ也源ノヲ召料ニトテコ、カシコノ忍ビ

【一〇三オ】

アルキノ女中ヨリクル也ヒトグハ一*具具*足シテ上着(ウハギ)下着(シタギ)ト重タ也エビソメハエビハブトウ也ブドウノカツラヲエビカツラト云ソノウレルヲエビゾメト云即トビ色也地トビ色ニシテ紋ヲル也又山吹ハ黄ニソメモヤウモ山吹アル源ノ召料ニトヲクル源モ得ト見ヌヨソヨリキサクニソレ也命婦モ元ヨリシラヌ故ニ山吹カナゾ也命婦取次テ末摘ノモトヘヤルソレハ命婦ガ心ニ末摘ヨリ源ヘ進ゼラルヲ源カラ進ハケツコウナ故末摘ヨリ進ハ悪(アシイ)ト思召ナラント思也元ヨリ悪(ハル)カツタ也カレハター命婦ハ末摘ヨリ進ヲ悪ト思トモ末摘ノ方ノ女中ハカレハ源氏ヘ進ゼラルヲ指スキミ也ソレハト云様也ハタハ助字也クレナヒノヲモ、シイハケツカウ也今デモ重(ヲモイ)道*具ジヤト云ハケツカウ也チンテウノテウノ字ノ心也

チン物ト云チンクハト云ソレ外ノ者ニクラベテハシツカリト重(ヲモ)也珍(メヅラ)シイノキミニ非也サリトモアチヨリ進ハ也コチヨリ進ゼラルハアチニヨイノモアラン

(○私考曰エヒ染ノ織物トイフ時ハ經、赤緯、紫ノイトニテ織タルヲイヘリ云々名目抄ニ葡萄、菊、染經(タテ)、赤緯(スキ)、紫和名抄葛ノ類ノ篇ニ紫葛和名衣比加豆良)

【一〇三ウ】

ソレトモキエマイ也ネビ人()——此物語ニハトコデモ年ヨリヲネビト云也哥合(ウタアハセ)ニ合セト云様ニヒハンシテアル也御一御哥モ源ヨリ返(ヘン)哥クル此方カラ進ハ道理慥ニ聞エシツカリトシタ哥也是ガ却テヨウナヒ也風流ニヨメバヨヒニ堅也唐衣ノ哥風流ニナフスクヨカ也コチニハ却ジマンシ源ハチト風流ナレバヨイニト思召テイ違也コチヨリ進ゼラルハシカト聞ル源ノハ風流ニアレドモ慥ニナヒト哥合ノ様ニ評番シテアル也姫君一末摘也コノタビノコソハ末摘ノ随分カラ入レヂヤメト思召也大抵ノヲボロケニ非スト存シテ扣(ヒカ)ヘヲク也出来タト思故也朔ノ一男(ヲトコ)トウカ◇(ト)ハ正月十四日ニアル女トウカハ十六日ニアル女トウカハ毎年アル男トウカハ隔(カク)年ニアルコトシオト(トコ)——トハコトシアル年故也朔トハ朔比スギソロ、十四日ノ催(モヨヲシ)スル故也声ヨイ天上人ナド十四日ノ男ドウカニ哥ウ也アソココ、ノレキ、ノ親王方杯デウタイナラス也イツモノ出入ノ処デナラン哥テ聞セバアチ

(○私考曰オトコタウカハ正月十四日ニ行ル聖武天皇天平元年正月十四日初ルヨシ也十六日ハ女踏哥(メトウカ)トイヘリ委ハ玉カツラノ卷ニ記スベシ)

【一〇四オ】

ニモ悦ビコチニハ稽古ニナル故也大分事多也ニギハシケレドモサビシキーサ
 ビシウテアル処思也イタハシウ思故七日ハ白馬ノ節會(セチエ)也キン
 中デ馬ミルコトアル年ノ初ニ馬ヲミレバ邪氣ノゾクト云事アル也セチエハク
 ゲドモ召シテゴ酒下サル白馬ノ御祝義ニ付テ源モ参内シテ天子ノヲソバヨリ
 退出シタ也ヲ、シノ藤壺ノヲヘヤニヲ留リナサル様ニシテ末摘ノ方ヘ
 ゴザル也是前後スル様也十四日ノトウカアルニ源モサハガシケレドモ七日ノ
 バンニアソコヘゴザルト云ハトウカ先ヘスム様也ソウデナヒ也七日スギテハ
 前ハケイコサハガシイ也ナラン事也七日スギテ末摘ヘゴザル也本トウカハマ
 ダナヒ也十四日也例一困窮ノ方ナレドモ旧冬源ノ恵アルヤシキニギハシイ也
 ソヨノトニギハシイ也ヨヅイセ間ト同様ニ今迄ノ様ニナヒ也君モ一末摘
 ノヨウスモシツトナヨカニナリニツトリトシタ也イカニソドウゾ末摘ノ
 顔モマヘミタヨリヨフナルカト思也日一其夜ハ御トウ留也

(○私考曰七日ノ節會ノ初ハ景行天皇五十一年正月七日郡《群》卿ヲ据テ宴
 数日聞シメスト見エタリ是濫觴ナルカ説青馬ヲ引事ハ嵯峨天皇ノ弘仁二年正
 月七日ヨリ始ルヨシ也河海ニハ光仁天皇宝龜六年正月七日ニ始ルト見エタレ
 トモ国史ニ所見ナシ云々文徳実録ニ文徳天皇仁寿二年正月戊辰朔甲戌(七
 日)幸豊樂院以覽青馬助陽氣賜宴群臣如常)

【一〇四ウ】

夜明ル迄ソレニナルナシテニカラアル也末摘ヘ働ニ日タクル迄ソコニゴザル
 也日ノ出ル迄ニジ刻ヲナシタ也ヒルニナシタ也ユルリトシテアル也東一夜明
 テ東ヘ向タ戸アケル也ツマドハタダ戸也遣(ヤリ)戸切(キリ)戸杯アル妻
 (ツマ)戸ハスベラン戸ハ両方ノハシトトデシメル也惣名也是ハ引(ヒ

キ)戸也ソノ向ニ見エル廊下昔ハ大ナ時ニ向ノ殿ヘ通様ニシタ也アルハアレ
 唯廊下アレドモ屋(ヤネ)ナヒ故曰ガ御殿ヘ入ル也雪一朝日故東ノ方カラ日
 ハサシ込ミソノ上ヘニハ雪アル雪アレドモ日ノサス方雪モナヒ也朝ノテイ也
 チラノアル也イト元ヨリ夜明(ヨアケ)也ヨコ日サス故ヲク残ナフ見エ
 ルケザヤカハ訓ハケハケ色也サヤカハアザヤカ也サノ字スムハ悪(アシイ)
 也ケ色(シキ)アザヤカ也サノ字濁テヨイ也御直衣一日影サシ入故源ノエン
 ガハヘクルヨウス見エルネ処ヨリヲ帰故直衣ハ上ヘニキル上ヘノセウ束也冬
 ハ白夏ハ青ト云様也定アルソレメス也出ハ末摘ネマノ方ヨリミル例ノ処ヨ
 リ少シ出也カタハラヨコ

(○私考曰御ナヲシ此様ニイヘルハ冬ノ直衣也凡法冬ノ直衣ハ表白「文浮*
 線蝶*丸白粉張」裏平*絹若年ハ此に成長次第ニ色ヲウスクナシテ次ニ花
 田是モ次第ニウスクシテ老年ハ大略白後ニハ一向白トイヘリ宿徳ノ人ハ表裏
 トモニ白平絹ヲ用ヒ玉フト也凡冬ノ直衣ハ十月朔日ヨリ三月晦日ニ至ルト見
 エタリ云々夏ノ直衣ハ箒木ノ卷ニシルシヌ)

【一〇五オ】

ジリデモシテアルテイ也コボレイテハ末摘カミハヨイ也コボレハカミノ事也
 末摘ノカミハウルハシイ故イト也オヒマヘミル時ハ悪イ若ヨウナル時也
 ソコデ格子引上ゲル也イトマヘ末摘得ト見ルハアマレ格子上リスギ残(ノ
 コル)処ナフ末摘ヨウスミエルソレニコリテアゲモハテハ格子也格子ウヘ、
 上レバ上ニ懸ル者サゲアル是ハソコヘカケズチヨツトケウ足ニ打カケル也格
 子ハ四角ニ組也マン中ヨリニニシ切者也上(ウヘ)バカリ上レバ下(シタ)
 ニ残アルミタレチル者ニ枚ナカヲ上レバアガル也格子ハ内ヘ上ゲハジトミハ
 外(ソト)ヘ上(ル)也半葎(ハジトミ)モ二枚也敬(ケウ)臺(寺)

ニアル一枚ニシテアルアノ様也是モ一枚ト見ユケウ足ニモタセ明(アカリ)取ル迄也ネルビン故シドケナヒ也ノウシ也冠(カムリ)下(ジタ)故先ハカミノ先ハコ・ヂノ中(ナカ)へ入ル様ニシテアル後室(ゴケ)ワゲト云様ニダテル／＼ワゲアル也先ヘナル方ハカモハズハタヲナデアケヲク也ソコデビンナデルニ付ワリナフハキツウ古也

【一〇五ウ】

父ヒタチノミコノ遣也古代ノ古イ者也キヤウ臺ハカ、ミ立也カラクシゲハカヲシ立ノクシ道具也カ、ゲ管(ハコ)ハ櫛ノルイカミユフ道具入レル者也今云ハ乱レ箱(バコ)トモカ、ケバコトモ云カ、ゲモカキアゲル也髪カキアゲル也乱レ管モ婦人ノネレバ乱タカミ入レヲク故也同様ノ者ソウ也サスガニコレ程コンキフナ家ナレドモ男ノ道具アルハズ也父コノ也女中ノ処ニ男ノ道具アルモ風流也女ノ末摘ノヲセウ束ウルハシク見エルト云ハ源ヨリキノウ命婦ニ持テ遣ヲソノマ、キル外ノモノマゼズ丸デキルサナガラハソウナガラ也源ハ貴人故必ソレトモ思又サツハリトシテト思召サモハ源ノヲ心也ケウアルカノ上(ウヘ)ニ召シタ衣(キヌ)ハ出来ヨイ也シルキハ著(イチジルイ)也源ノキノウ進ゼラルトヲ覚程著(イチ)也著(イチ)アレバ昨日ノジャト思召気付(ツク)ナリアヤシト昨日ヤルノジャガト思也平生末摘ハモノ云又也ジ、マ也

(○私考曰カ、ケノハコハ搔、上ノ管也方八寸三分懸子ノ深七分身ノ深四寸三分角々ヲ折入テ形木瓜ノコトシ臺高四寸五分土居原二分半共ニ四寸五分管ノ臺各蒔絵螺鈿也懸子ニハ櫛缺(ハサミ)鑷子(ケヌキ)髮搔(コウガイ)櫛掃(ケシハラヒ)耳次(ミ、カキ)下*入ル身ノ内ニハ三寸八分丸鏡ノ管一合入ルヨシ也図アリ可考委ハ類聚雜要抄ニ見エタリ)

(○卅四ウホノ／＼如何日ホノカナキミ也今俗ニ云トボ／＼アルト云今夜ノロクニアケヌヲホノ／＼)アケト云スクナヒキミナリ)

【一〇六オ】

待ル、一◇(抄ニ引)アラ玉ノ一ト云哥アル其鶯マツヨリコナタノ引込様ニモノ被仰ガ直リサハ／＼トモノ被仰ヲ鶯ヨリ待ト也ソコデヤウ／＼返答出(デタ)也サヘヅル一◇(抄ニ引)古今二百千鳥ノ前ノ哥ハシウイ也百千鳥ハ習フル事也唯鳥也鳥サヘヅルハモノコト改レドモアラタナレドモ我ハ古(フル)ビタナリサリヤハソレヤコソ也一年コヘタ故モノデモ被仰ハ也夢一ニ◇(抄ニアリ)引哥ドレモ合又也◇(抄ニアリ)忘レテハ一ヨイ様ナレドモ合又ト(ド)レゾ昔アツタカ也コレハ合又也ミ送一末摘ミ送テアル也口一カノ袖ナドヲ以テロヲヲ、ウ婦人ニアル事也末摘カノ口ハヲ、ヘドモソノハヅレヨリトビ鼻見エアル也卍(句)赤サホンノリト見エル也二条院ノシノ御殿ヘヲ婦(カヘリ)テアレバ紫ノ上ハ小ドモ故ニマダソロハ又也コノクレナヒハ紫ノホウノテリ／＼トシテウツクシイ也末摘ノ鼻ノ先ニ思ヒクラベ云也クレナヒハカウウツクシイアルニ末摘ノハナノ先ハドウゾ也ムモンノ一紫ノセウ束也ホソ長ハ貴人ノコドモ衆男女トモキル上(ウヘ)ニキル雨羽織ノヒボノ様也両ハ

【一〇六ウ】

ナニ結ビ袖ニモ狩衣ノ袖ノ様ニ露(ツユ)トテク、リツケアマリ二尺モタレル也惣体ノタレル尺袖モ一尺七八寸露ノイトモ袖ヨリ一尺四五寸アル也ムモン也平絹(ヘイケン)也ナヨ／＼トキル也コハウハナヒ様ニキルサリテハソメ色◇(ノコト)也河(カ)海ヲ抄(セウ)ニ引アルサクラ色ハ表ハ薄イスワウ裏ハコイスワウト云コレニ非ズサクラハ春ノ桜ニ似タ也表白裏スワウ

也河海ニ表ウスイスワウト云ハ聞エタ也表ウスイ衣(キヌ)スゞシノ様ナレ
 巴下(シタ)ノクレナヒ移(ウツ)リ薄ク染タ粧梅(モヽイロ)ノ様ニ見エ
 ル故サクラノキヌハ元ハ白テ赤(アカイ)也下(シタ)ノウツリデ表桃色ニ
 モ見ユベキ也小ドモノコトナリナニ心ナフシテアルガト角アハイラシイ也古
 代ノ一祖母(ハハ)君也ナゴリニテハ二説アリ一説ハ服(ハ)ノコルト云
 説ハ祖母君モ年ユク迄ハグロメセヌソノ風残テト也ヲバハ祖母君也ヲ齒黒
 (ハ)付デマダアルヲ近比テハクロ付也マエノ一ハ黒付バ眉ソリ新眉出来バ
 ウ／＼

(○私考曰無モンノ桜トハ表白裏エヒ染(紫色ノ薄也)「或コキ蘇芳トモ」
 ヲイフ也細長ハ身長四尺五寸身ノ廣六寸五分大頸上四寸三分下四寸七分袖
 ノ引立一尺七寸廣八寸紐組結定分六尺五寸ソノ細長ハ男女幼少ノ人ノ着セ
 ラル、モノ也凶アリ可考紫ノ紐左右収合乳ノ下ニテ両ワケニ結下ル)
 (○同ハクロメノ事イツレノ御代ニ始ルコトヲシラス説女子ハ十三才ノ時ヨ
 リ初テ齒牙ヲ染ル例也トイヘリ其子細説々アリテ分明ナラス又男子モ華宗貴
 族ノ人ハ皆染ラル、也云々)

【一〇七オ】

眉(マユ)トテ墨デ付也ハツキリト見ユソロ／＼眉モ年行ニ順ヒテノケル也
 十五六ハノケル也初ハ額(ヒタイ)ノマ正面後ハピンヘヨセノウスル也男女
 トモソレ也心一源ノヲ心ツカラ末摘紫夕顔ワガ心ナガラサマ／＼思事也此様
 ナ紫ミテヲラズ夕顔ノ様ナ事末摘ニ逢様ナ事也例ノ一例ノ通紫上トモニヒナ
 遊シテアル紫ナグサメ◇(ニ居)也紫エ書也面白ニテツサミシテアル源モソ
 レニ書ソヘ進ゼラルカミイト一源ノ末摘思テ也末摘鼻ノテイ書テミル也形一
 此様ニカタウツシテサヘミ苦也我一源ノヲ主ガヲモカゲカ、ミニウツルウツ

クシイヲ見テツカラ自身ニベニ付紫上ニミセル也紅(ベニ)ヲアカ花(ハ)ト
 云也手ヅカラベニヲ鼻ニモノ書(カク)様ニ付テミル也此句ハベニノツヤ
 也香(カ)ノ事ニ非ズカク一源ノ様ナ天下無双ノ御キリヤウデモソフアツテ
 ベニマジラレハ見苦也姫一紫

【一〇七ウ】

見テ笑也丸ガ一ソコデ源ガ紫コドモ故ヲレガ顔此様ニ赤ナラバドウセントタ
 ハムレ也ウタテ◇(紫)コ心(ハ)ニソレハソノ促シミツキノクマイヤト
 小ドモ心(ハ)ニ危思也源ノソラノゴイシテノガウタ顔シテヌグウテミテモ
 ノカヌ也紫ナブル也内一若キンリニヲ聞ナサレハナントヲ、セラレント源ノ
 ソラグヤミ也ジツ目立テ思也紫ノ心ニ笑止ニ思ハテ笑止ナイトヲシト思也平
 仲一平仲(ハ)カ事ハ抄ニ委ク書平ノ貞文(ハ)ト(ト)云人字(アザナ)
 平仲ト云也女ノモトヘ行我シンジツナ故其方ニ逢バナクト云テナイテミセル
 也女カソゾイテ硯ニスミ入レヲケバソソレシラズ面ニ墨付ト也我顔ニ墨ツクナ
 也赤ハアンベナント云也アヘナンハニタ也赤ハニアイモセウガ也アンベナン
 ハアラウ事ナランガ也二説也アンベナンヨイ也イモセハ夫婦也曰一二月也春
 ノシルシ也イツカ花サカント心モトナヒ也梅一花ノ梢ハイツ

【一〇八オ】

サカンカト心モトナヒ也梅一花咲ベイケ色也取ハケ梅ハサクベイケ色ニ見エ
 ル也ハシガクシ一別シテ早ク咲花故花ノ先赤ク見エル也ハシガクシハ今云御
 (ゴ)ハイ也春日(カスガ)ニモアル上(アガ)リ立(タテ)ノ階(キザ
 ハシ)ノ上(ウヘ)ノヲ、イニシタ者也ハシカクスキ也キザハシカクスキ
 ミ也

○「クレナキノ一クレナキノハナ末摘ノ鼻ノ先赤フ也アヤナクハムヤク也

梅ノ立エハナツカシイ者ナレドモ末摘事ノ思出ハウルサイ也イデヤトハホツ
タンノ詞也アト云サタン也アイナクハフソウヲウ也春ノ初ナレドモアマレ
面白ナイ也ウメクモサタン也ヨイ者ナヒ者也紫末摘ワレハ知テアレドモ先ヲ
書コレハシラレ様ニヨイハヨリワルイハワルカラニイカバナルランユカシイ
事ジャト也
末摘巻終

【一〇八ウ】

〔一〕再問條々

○物語ハ竹取物語カ始也伊勢物語赤古キ也伊勢物語ニウツヲ住吉等ノ物語引
事ナシ先ハ古キ也空穂(ウツヲ)物語モ古キ也源氏ヨリ前也源氏ノ末摘ニモ
引也繪合ニモアル也住吉物語モ源氏ニ引アル也エ合ニモ引也

○日本紀ニ五処括(ク、リ)ノ古本アリ是マメツ無コレヨイ也後ノハスリ切
(キ)レアリ

○十一丁ウ ヤミニシヤトハソレナリニ成テアル也カハ哉也

○十四丁ウ タンナレハテアルナレ也

○廿五丁ヲ ホサチト書テアルヲホサツト云ヨミクセナリ

